
2人の転生者 - サスケ s i d e - 《改訂版》

エミリア&志保

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

2人の転生者・サスケside・《改訂版》

【Nコード】

N2541Y

【作者名】

エミリア&志保

【あらすじ】

ごく普通のありふれた2人の男はある日突然死ぬことになった。そして、死後の展開は王道とも言えるべき転生・憑依。2人の紡ぐ物語は原作に近く、遠いもの。
果たして、原作キャラにチート系主人公である2人に敵う存在はあるのか？
最強系ご都合主義SSの開幕です。

主人公&ヒロインズ設定（前書き）

某ハムの人のおく我慢弱い私は改訂版が溜まってでも無いのに投稿することになりました。

改訂に伴い、SA☆SU☆KEの設定も加えます。

主人公&ヒロインズ設定

主人公その1

【名前】

うちはサスケ

(CV..杉山紀彰)

【顔立ち】

原作サスケ

【髪型】

ロン毛ナツポー

【生年月日】

7月23日／獅子座

【年齢（原作開始時）】

12歳

【身長／体重（原作開始時）】

155.3cm（原作より4.5cm高い）／43.5kg（原作より1.3kg重い）

【血液型】

A B型

【性格】

仲間想い、ケセラセラタイプ

【好きな食べ物】

おむすび（タラコ）、白の手料理

【嫌いな食べ物】

白菜（漬物以外は基本的に無理）

【戦ってみたい相手】

うずまきナルト、うちはミカゲ、うちはイタチ、ロック・リー

【好きな言葉】

因果応報／命を大事に

【口癖 or 決め台詞】

ただし、その頃にはあんたは八つ裂きになっているだろうけどな

【趣味】

修行（主に新術開発）、忍具製作

【忍者登録番号】

012608

【血継限界・血継淘汰】

『写輪眼』&『万華鏡写輪眼』（『白眼』の能力付き『血継限界』）

『天遁』（風＋雷の『血継限界』。天候の操作も可能）

『磁遁』（雷をベースに生み出した『血継限界』。が、他里の磁遁
使いより性能は少し劣る）

【特殊能力】

『直死の魔眼』、？死ぬ気の炎？（虹属性）、『錬金術』、『錬丹術』、6つの悪魔の実の能力

【得意な忍術】

『火遁秘術』、『水遁秘術』、『風遁秘術』、『雷遁』、『人遁秘術』、『天遁』、『磁遁』

【性質変化】

5つ全て

【総合能力…潜在能力…運】

5…5…5

【忍アカデミー者学校卒業年齢】

12歳

【中忍昇格年齢（第八章以降）】

13歳

【任務経験】

Dランク0回、Cランク0回、Bランク3回、Aランク5回、Sランク0回（第三章時）
Dランク0回、Cランク0回、Bランク13回、Aランク17回、Sランク10回（最終話時）

【特記事項】

三尾の人柱力。

【備考】

本来、1つの眼に1つの瞳力しか得られないはずの『万華鏡写輪眼』

に複数の瞳力を持っている。

(右目…『天照』^{アマテラス}、『加具土命』^{カグツチ}、『思兼』^{オモイカネ}、『天目一箇』^{アメノマヒトツ}、『天爪羅』^{マツマラ}、『玖枝那雫』^{クシナダ}、『伊邪那美』^{イザナミ}、『天破槌』^{アメノハヅチ}、『九十九』^{ツクモ}、『普賢』^{フゲン})

左目…『月読』^{ツクヨミ}、『神威』^{カムイ}、『神魂命』^{カミムスビ}、『玖螺御津』^{クラミツ}、『阿修羅』^{アシユラ}、『宿儺』^{スクナ}、『武御雷』^{タケミカヅチ}、『羅刹』^{ラセツ}、『八咫鴉』^{ヤタガラス}、『絹索』^{ケンジャク})

また、刀匠として刀語に登場した完成形変体刀十二本を造り、完成形変体刀の特性の終着点である完了形変体刀・虚刀『佐助』へと至った為、虚刀流を使うことが可能。

(ちなみに虚刀流を扱えるが、刀を扱えないという訳ではない)

その他、旅に出ている間に千刀流と陸奥圓明流、飛天御剣流の技も修行で修得している。現時点では時雨蒼燕流と合わせて5つの流派を修得していることが判明。

(NARUTOの世界には存在しない流派なので開祖ということになる)

第八章以降は上忍に就任。

主人公その2

【名前】

うずまきナルト

(CV…竹内順子)

【顔立ち】

原作ナルト+ミナト÷2 (ヒゲ風埜無し)

【髪型】

ミナトヘアー

【生年月日】

10月10日／天秤座

【年齢（原作開始時）】

12歳

【身長／体重（原作開始時）】

152.5cm（原作より7.2cm高い）／42.4kg（原作より2.3kg重い）

【血液型】

B型

【性格】

（微）唯我独尊、嫁！S L o v e

【好きな食べ物】

ヒナタの手料理

【嫌いな食べ物】

トマト

【戦ってみたい相手】

うちはサスケ、はたけカカシ、日向ヒナタ、日向ハナビ、日向ネジ

【好きな言葉】

天上天下唯我独尊

【口癖 or 決め台詞】
斬刑に処す

【趣味】
修行（主に新術開発）

【忍者登録番号】
012612

【血継限界・血継淘汰】
『輪廻眼』（実際は時代の節目に現れる突然変異）
『電遁』（土+雷+風の『血継淘汰』。能力は禁書目録^{インデックス}に登場する^{レベル5}超能力・超電磁砲）

【特殊能力】
『歪曲の魔眼』、^{ゲート・オブ・バビロン}『王の財宝』、靈光波動拳、『虚化』、2つの悪魔の実の能力
？死ぬ気の炎？（大地属性）

【得意な忍術】
『風遁』、『雷遁』、『電遁』

【性質変化】
5つ全て

【総合能力・潜在能力・運】
5..5..5

【忍者学校卒業年齢】
^{アカデミー}

12歳

【中忍昇格年齢（第八章以降）】
12歳

【任務経験】
Dランク7回、Cランク0回、Bランク1回、Aランク0回、Sランク0回（第三章時）
Dランク7回、Cランク0回、Bランク10回、Aランク15回、Sランク7回（最終話時）

【特記事項】
九尾の人柱力

【備考】
幼少期に『直死の魔眼』を持っていると思い、七夜流暗殺術の修行をして修得している。

また、サスケが旅から帰って来た後に『天狼』などを貰ったことで無明神風流の技の修行も開始し、修得している。サスケsideの最終話の時点で2つの流派を修得していることが判明。

（NARUTOの世界には存在しない流派なので開祖ということになる）

サスケが知らないだけで、他にも流派を修得している可能性は大。
第八章以降は特別上忍に就任。

サスケヒロインその1

【名前】

うちは白（旧姓…雪）
（CV…浅野まゆみ）

【顔立ち】

原作の白と同じ

【髪型】

ロングヘアー

【生年月日】

1月9日（山羊座）

【年齢（原作開始時）】

12歳（原作より2歳年下）

【身長／体重（原作開始時）】

150.2cm（原作白より5.7cm低い）／39.8kg（原作より3.4kg軽い）

【血液型】

O型

【性格】

冷静沈着、温厚、偶に激情家、サスケ第一主義、家族第二主義

【好きな食べ物】

冷やし天ぷらおろし蕎麦

【嫌いな食べ物】

特に無し

【戦ってみたい相手】

うちは多由也、うちはアマル、日向ヒナタ

【好きな言葉】

可能性

【口癖 or 決め台詞】

あなたにだけは負ける気がしません

【趣味】

野草摘み、読書

【忍者登録番号】

012610

【血継限界・血継淘汰】

『水遁』（水＋風の『血継限界』）

【特殊能力】

？死ぬ気の炎？（雨属性）

【得意な忍術】

『水遁』、『風遁』、『水遁秘術』

【性質変化】

水、風

【総合能力…潜在能力…運】

4…5…2

アカデミー
【忍者学校卒業年齢】

12歳

【中忍昇格年齢（第八章以降）】

12歳

【任務経験】

Dランク0回、Cランク0回、Bランク3回、Aランク5回、Sランク0回（第三章時）
Dランク0回、Cランク0回、Bランク10回、Aランク15回、Sランク7回（最終話時）

【備考】

『氷遁』を操る雪一族の末裔。木ノ葉にやってきた際に姓をうちに変えている。第八章以降は上忍に就任。

サスケヒロインその2

【名前】

うちは多由也（旧姓…音？）
（CV…渡辺明乃）
おとかせ

【顔立ち】

原作通り

【髪型】

ロングヘアー

【生年月日】

2月15日（水瓶座）

【年齢（原作開始時）】

12歳（原作より2歳年下）

【身長／体重（原作開始時）】

147.5cm（原作より0.7cm低い）／37.7kg（原作より0.5kg軽い）

【血液型】

A型

【性格】

偶に毒舌、サスケ第一主義、家族第二主義

【好きな食べ物】

栗ぜんざい

【嫌いな食べ物】

納豆、オクラ

【戦ってみたい相手】

うちは白、うちはアマル、日向ヒナタ

【好きな言葉】

一石二鳥

【口癖 or 決め台詞】

あんたと私じゃ格が違うんだよ、格が

【趣味】

笛

【忍者登録番号】

012609

【血継限界・血継淘汰】

無し

【特殊能力】

? 死ぬ気の炎? (霧属性)

【得意な忍術】

『火遁』、『風遁』

【性質変化】

火、風

【総合能力..潜在能力..運】

4..5..3

アカデミー

【忍者学校卒業年齢】

12歳

【中忍昇格年齢（第八章以降）】
12歳

【任務経験】
Dランク0回、Cランク0回、Bランク3回、Aランク5回、Sランク0回（第三章時）
Dランク0回、Cランク0回、Bランク18回、Aランク13回、Sランク8回（最終話時）

【備考】
楽器を使った幻術使い・音？一族の末裔。木ノ葉にやってきた際に姓をうちには変えている。第八章以降は中忍に就任。

サスケヒロインその3

【名前】
うちはアマル
(CV…くまいもとこ)

【顔立ち】
劇場版NARUTO疾風伝・絆のヒロイン・アマルと同じ

【髪型】
ロングヘアー

【生年月日／星座】

8月26日／乙女座（捨て子なので正確な誕生日は不明。この誕生日もサスケと会った日である）

【年齢（原作開始時）】

12歳

【身長／体重（原作開始時）】

147.5cm（原作サクラより1cm低い）／35.0kg（原作サクラより0.4kg軽い）

【血液型】

A型

【性格】

仲間想い、サスケ第一主義、家族第二主義

【好きな食べ物】

山菜ごはん、和菓子

【嫌いな食べ物】

ハバネロ

【戦ってみたい相手】

うちは白、うちは多由也、日向ヒナタ

【好きな言葉】

良薬、口に苦し

【口癖 or 決め台詞】

医療の場に敵味方は関係ない

【趣味】

薬草採取、新薬開発

【忍者登録番号】

012607

【血継限界・血継淘汰】

無し

【特殊能力】

？死ぬ気の炎？（雷属性）

【得意な忍術】

医療忍術、幻術全般、『傀儡の術』

【性質変化】

水、土

【総合能力…潜在能力…運】

4…5…3

【忍者学校卒業年齢】
アカデミー

12歳

【中忍昇格年齢（第八章以降）】

13歳

【任務経験】

Dランク0回、Cランク4回、Bランク4回、Aランク0回、Sランク0回（第三章時）
Dランク0回、Cランク4回、Bランク19回、Aランク10回、Sランク6回（最終話時）

【備考】

第八章以降は特別上忍に就任。

サスケヒロインその4

【名前】

うちはハクト（旧姓：白月）

（CV：門脇舞以 代表キャラ：Fate/stay night
のイリヤスフィールⅡフォンⅡアインツベルン）

【顔立ち】

東方のうどんげとFateのイリヤを足して割った感じ（紅眼）

【髪型】

ロングヘアー（銀髪）

【生年月日】

9月4日／乙女座

【年齢（第一期）】

14歳

【身長／体重（第一期）】

140cm／32.5kg

【血液型】

A型

【性格】

天真爛漫

【好きな食べ物】

あんみつ、抹茶アイス、牛乳、麻婆豆腐（激辛）、ニンジン、ラーメン

【嫌いな食べ物】

ワカメ〔別名…間桐慎二（笑）〕

【戦ってみたい相手】

うちはサスケ、うずまきナルト、うちは白、うちは多由也、うちはアマル

【好きな言葉】

花鳥風月、花天月地

【口癖or決め台詞】

うにゅ？／兎は淋しいと死んじゃうんだよ／ガンガンいきます

【趣味】

料理、鍛練、月見

【忍者登録番号】

012655（草隠れ…抹消済み）↓012627（木ノ葉隠れ…新規）

【血継限界・血継淘汰】

『雪遁』（水＋風＋雷の『血継淘汰』。簡単にいうなら『氷遁』と『天遁』の融合系）

【特殊能力】

怪力（刀語の凍空こなゆき並）、？死ぬ気の炎？（主…嵐属性／副…雨属性、晴属性、雷属性、雲属性）

【得意な忍術】

『雪遁秘術』、『水遁』、『風遁』

【性質変化】

水、風、雷

【総合能力…潜在能力…運】

3…5…3

【忍アカデミー者学校卒業年齢】

13歳（草隠れ卒）

【中忍昇格年齢（第八章以降）】

15歳（木ノ葉隠れ所属）

【任務経験】

Dランク24回、Cランク7回、Bランク0回、Aランク0回、Sランク0回（第四、五章時）

Dランク24回、Cランク7回、Bランク15回、Aランク10回、Sランク3回（最終話時）

【備考】

源流は白の一族と同じで、先祖は霧隠れの里（元・血霧の里）の抜け忍。

生い立ちのためか家族に恵まれず天涯孤独で現在は一人暮らし、そのため家事スキルはかなり高い。また、過去に虐待を受けた事もある。

？チャクラ？の活性無しで超怪力を有し、一般で流通していた妖刀佐助の業物・斧刀『狂』^{キョウ}と斬馬刀『佐之』を所持している。

超重量武器である斬馬刀『佐之』と初期試作形変体刀・斧刀『狂』^{キョウ}を軽々と持ち上げ自在に操れる。

妖刀佐助のファンであると同時に、中忍選抜第三試験予選のサスケ（ハイパー死ぬ気モード）に一目惚れ。

体つきは細身だが着痩せするタイプであり胸がけっこうでかい。得意とする『雪遁』は氷雪を使い吹雪などを起こして相手を凍らせたリ雪をふらせたりする。（天候にすら影響を与える『氷遁』の進化系）

一人称は僕で、どこぞのオヤシロサマ風。うちはアキトと孤独を嫌っている。

特に孤独をなによりも嫌い、独りになる事に恐れを抱いている。故にサスケやナルト達のような関係に強く憧れている。

怪力だけでなくスピードもあり、重りを外したリーの標準スピードよりやや遅い程度。

ちなみに激辛党で、特に麻婆にこだわりがある。が、味覚は普通なので甘いものも好きだったりする。

また、どんだけ食べても太らず、食べたものの栄養は全て筋力と胸へと向かうという全世界の女性が大変羨む体質でもある。

中忍試験での戦いで中忍になれる資格を手にするも、大蛇丸の配下

の襲撃を受け、草隠れでは未確認の戦死とされ、中忍の話が流れる。サスケに拾われ、木ノ葉隠れで保護される。そして、うちは宗家の家族に仲間入り。そのまま木ノ葉の中忍になる。任務経験は描写が無かったも最新話までに行われたものを表示。

現時点でサスケが『血継淘汰』の存在を知らないということもあり、本文では『雪遁』を『血継限界』と勘違いされているが、実際は世間的に知られていない第二の『血継淘汰』。

（ちなみにサスケとナルトは前世で『血継淘汰』の話が載っているジャンプが発売される前に死んだ）

サスケヒロインその5

【名前】

うちは香鱗

（CV… 東條加那子）

【顔立ち】

原作通り

【髪型】

ロングヘアー（赤髪）

【生年月日】

6月20日／双子座

【年齢（第一期）】

12歳

【身長／体重（第一期）】

152.2cm／37.8kg

【血液型】

A B型

【性格】

強情、偏屈

【好きな食べ物】

お好み焼き

【嫌いな食べ物】

水餃子

【戦ってみたい相手】

うちは白、うちは多由也、うちはアマル、うちは（旧姓：白月）ハクト

【好きな言葉】

女の一念、岩をも徹す

【口癖or決め台詞】

お前、馬鹿じゃねえの？／お前、馬鹿だろ

【趣味】

香水コレクション

【忍者登録番号】

012653（草隠れ…抹消済み）↓012626（木ノ葉隠れ…新規）

【血継限界・血継淘汰】
なし

【特殊能力】
見取り稽古（刀語の鑢七実並↓鑢七実以上）、？死ぬ気の炎？（晴属性）

【得意な忍術】
『土遁』、『雷遁』、『風遁』

【性質変化】
土、雷、風

【総合能力…潜在能力…運】
4…5…2

【忍者学校卒業年齢】
アカデミー
11歳（草隠れ卒）

【中忍昇格年齢（第八章以降）】
13歳（木ノ葉隠れ所属）

【任務経験】
Dランク24回、Cランク7回、Bランク0回、Aランク0回、S
ランク0回（第四、五章時）
Dランク24回、Cランク7回、Bランク16回、Aランク10回、

Sランク4回（最終話時）

【備考】

中忍試験での戦いで中忍になれる資格を手にするも、大蛇丸の配下の襲撃を受け、草隠れでは未確認の戦死とされ、中忍の話が流れる。気絶して川を流れている所をミカゲに拾われ、木ノ葉隠れで保護される。そして、うちは宗家の家族に仲間入り。そのまま木ノ葉の中忍になる。また、サスケに与えられた完成形変体刀、弦刀『鈴^{スズ}』の所持者となってから風鳥院弦術の開祖となった。

サスケヒロインその6

【名前】

ふうまササメ（将来的にはうちはササメ）
（CV… 小林 沙苗）

【顔立ち】

アニメオリジナルストーリー通り

【髪型】

ロングヘアー（茶髪）

【生年月日】

8月21日／獅子座

【年齢（第一期…初登場時）】

13歳

【身長／体重（第一期）】

148.5cm／36.2kg

【血液型】

A型

【性格】

温和、やる時はやる

【好きな食べ物】

焼き魚全般

【嫌いな食べ物】

水菜

【戦ってみたい相手】

うちは白、うちは多由也、うちはアマル、うちは（旧姓：白月）ハクト、うちは香鱗

【好きな言葉】

禍を転じて福と為す

【口癖or決め台詞】

見縊らないで下さい

【趣味】

散歩、散策

【忍者登録番号】

012626（木ノ葉隠れ…新規）

【血継限界・血継淘汰】

『圧遁』（火＋雷＋風の『血継淘汰』。二・三代目土影の『塵遁』の亜種で、能力は遥かに劣る）

【特殊能力】

？死ぬ気の炎？（大空属性）

【得意な忍術】

『圧遁』、『火遁』、『雷遁』、『風遁』

【性質変化】

火、雷、風

【総合能力…潜在能力…運】

4…5…2

アカデミー

【忍者学校卒業年齢】

—————（里ではなく忍一族出身の為）

【中忍昇格年齢】

—————

【任務経験】

Dランク0回、Cランク0回、Bランク1回、Aランク1回、Sランク0回（第九章終盤時）
Dランク0回、Cランク7回、Bランク3回、Aランク1回、Sランク0回（最終話時）

【備考】

第九章序盤で初登場。サスケに惚れ、サスケハーレムの一員に……。
（大蛇丸の館での一件がBランク、黒鋤ファミリー編がAランクとなっている）

現時点でサスケが『血継淘汰』の存在を知らないということもあり、
本文では『圧遁』を『血継限界』と勘違いされてるが、実際は世間的に知られていない第三の『血継淘汰』。

ナルトヒロイン

【名前】

日向ヒナタ

（CV…水樹奈々）

【顔立ち】

原作通り

【髪型】

ロングヘアー

【生年月日／星座】

12月27日／山羊座

【年齢（原作開始時）】

12歳

【身長／体重（原作開始時）】

147.3cm（原作通り）／38.0kg（髪の毛が長いので原作より0.1kg重い）

【血液型】

A型

【性格】

照れ屋、仲間想い、ナルト第一主義、家族第二主義

【好きな食べ物】

ぜんざい、シナモンロール

【嫌いな食べ物】

カニ、エビ

【戦ってみたい相手】

うちは白、うちは多由也、うちはアマル、日向ハナビ、日向ネジ

【好きな言葉】

有言実行

【口癖or決め台詞】

まっすぐ自分の言葉は曲げない

【趣味】

押し花

【忍者登録番号】

012618

【血継限界・血継淘汰】
『白眼』（『血継限界』）

【特殊能力】
無し

【得意な忍術】
柔拳

【性質変化】
水、風

【総合能力…潜在能力…運】
4…4…3

アカデミー
【忍者学校卒業年齢】
12歳

【中忍昇格年齢（第八章以降）】
12歳

【任務経験】
Dランク7回、Cランク0回、Bランク1回、Aランク0回、S
ランク0回（第三章時）
Dランク7回、Cランク0回、Bランク10回、Aランク12回、
Sランク1回（最終話時）

【備考】

日向宗家の次期当主でありながら柔拳以外にサスケから虚刀流を教
わった。（最初はハナビから教わっていた）

第七章終盤の時点で最終奥義『七花八裂』以外の技を修得している。
（一応、免許皆伝）

その他オリキャラ&原作キャラ設定（前書き）

ミカゲとかはこっちに移してみました。

その他オリキャラ&原作キャラ設定

オリキャラその1（サスケ妹）

【名前】

うちはミカゲ

（CV…ひと美 代表キャラ…SHUFFLE!のプリムラ）

【顔立ち】

うちはミコト似

【髪型】

ロングヘアー

【生年月日／星座】

4月5日／牡羊座

【年齢（原作開始時）】

7歳

【身長／体重（原作開始時）】

132.5cm（原作ハナビより0.1cm高い）／28.9kg
（原作ハナビと同じ）

【血液型】

A B型

【性格】

仲間想い、サスケ第一主義、家族第二主義

【好きな食べ物】
果物

【嫌いな食べ物】
苦い物

【戦ってみたい相手】
うちはサスケ、うちはイタチ、うちは白、うちは多由也、うちはアマル、日向ハナビ

【好きな言葉】
兄妹愛

【口癖or決め台詞】
それ、○○フラグでは？／修行が足りませんね。出直してきて下さい

【趣味】
修行、甘味処巡り

【忍者登録番号】
012611

【血継限界・血継淘汰】
『写輪眼』（『血継限界』）

【特殊能力】
？死ぬ気の炎？（雲属性）

【得意な忍術】

『火遁』、『風遁』、『風遁秘術』、幻術

【性質変化】

火、風

【総合能力…潜在能力…運】

4…5…3

【忍^{アカデミー}者学校卒業年齢】

7歳

【中忍昇格年齢】

【任務経験】

Dランク0回、Cランク4回、Bランク4回、Aランク0回、Sランク0回（第三章時）
Dランク0回、Cランク17回、Bランク9回、Aランク6回、Sランク0回（最終話時）

【備考】

佐助の実妹であると同時に妖刀佐助の完了形変体刀・虚刀『佐助』と対を為す全刀『神影』。
原典形変体刀・変刀『錆^{サビ}』を扱っている内に全刀流を修得し、完了形変体刀に至った。

オリキャラその2（綱手養女）

【名前】

千手サクノ「表人格」／カレハ「裏人格」（旧姓…草木）

（CV…植田佳奈 代表キャラ…リリカルなのはシリーズの八神はやて）

【顔立ち】

ヒナタとハナビを足して割った感じ（サクノ…緑眼、カレハ…金眼）

【髪型】

ロングヘアー（赤髪）

【生年月日】

8月20日／獅子座

【年齢（第一期）】

13歳

【身長／体重（第一期）】

147cm／38kg

【血液型】

A型

【性格】

天然…^{サクノ}戦闘狂^{カレハ}

【好きな食べ物】

山菜&キノコを使った料理

【嫌いな食べ物】
脂っこい物

【戦ってみたい相手】
うずまきナルト、白月ハクト、ヤマト

【好きな言葉】
臨機応変サクノ…一騎当千カレハ

【口癖or決め台詞】
なんとかなる

【趣味】
園芸、植物観賞サクノ…武器の手入れ（カレハ）

【忍者登録番号】
012654（草隠れ…抹消済み）↓012628（木ノ葉隠れ…新規）

【血継限界・血継淘汰】
『草遁』そうとん（水＋土の『血継限界』）

【得意な忍術】
『草遁秘術』、『水遁』、『土遁』

【性質変化】
水、土

【総合能力・潜在能力・運】

3..5..3

アカデミー
【忍者学校卒業年齢】

12歳（草隠れ卒）

【中忍昇格年齢】

【任務経験】

Dランク24回、Cランク7回、Bランク0回、Aランク0回、S
ランク0回（第四、五章時）
Dランク24回、Cランク12回、Bランク3回、Aランク0回、
Sランク0回（第最終話時）

【備考】

実はヤマトみたいに大蛇丸の実験で生み出された存在。（数々の実験の影響で二重人格になっている）

初代火影・千手柱間とその妻で初代九尾の人柱力であるうずまきミトの遺伝子を組み込まれている。（髪が赤いのはうずまき一族の象徴）

『草遁』は『木遁』の劣化版であると同時に九尾の固有能力を劣化させたもの。（原理的には一尾・守鶴を抜かれても砂を操れた我愛羅と同じで、初代九尾の人柱力であるうずまきミトの遺伝子のお陰）木ノ葉の里とは別の研究所で実験体になされていたが、他の実験体達と共に脱走。そして、草隠れの忍に拾われ、そのまま草忍になる。

（他に脱走した実験体達は大蛇丸やその部下に捕獲、または処分された）

『草遁』の力によって植物の声を聞くことが可能。これによって諜報活動を行う。（戦闘は主に裏人格のカレハが担当）

一般で流通していた妖刀佐助の良業物・連鎖小太刀『双鯨』そうこうを所持しており、刀語に登場する真庭忍軍十二頭領の1人、真庭喰鯨の忍法『渦刀』などを使用できる。

中忍試験後、里までの帰り道で大蛇丸の配下の襲撃を受け、草隠れでは未確認の戦死とされる。そして、第八章後半でナルトに拾われていたことが判明。木ノ葉隠れで保護され、綱出の養女となる。その後、木ノ葉の下忍にとして再登録。

原作キャラ

【名前】

日向ハナビ

(CV…浅井清己)

【顔立ち】

原作通り

【髪型】

ロングヘアー

【生年月日／星座】

3月27日／牡羊座

【年齢（原作開始時）】

7歳

【身長／体重（原作開始時）】

132.4cm（原作通り）／28.9kg（原作通り）

【血液型】

A型

【性格】

ナルト第一主義、家族第二主義

【好きな食べ物】

バナナ、牛乳

【嫌いな食べ物】

三つ葉

【戦ってみたい相手】

うずまきナルト、日向ネジ、日向ヒナタ、うちはサスケ

【好きな言葉】

先手必勝

【口癖or決め台詞】

その命、この手で刈らせて頂きます

【趣味】

修行

【忍者登録番号】

012617

【血継限界・血継淘汰】
『白眼』（『血継限界』）

【特殊能力】
無し

【得意な忍術】
柔拳

【性質変化】
水、雷

【総合能力…潜在能力…運】
4…5…3

アカデミー
【忍者学校卒業年齢】
7歳

【中忍昇格年齢】
――

【任務経験】
Dランク0回、Cランク4回、Bランク4回、Aランク0回、Sランク0回（第三章時）
Dランク0回、Cランク17回、Bランク7回、Aランク1回、Sランク0回（最終話時）

【備考】
日向宗家の人間でありながら柔拳以外にサスケから虚刀流を教わっている。

第七章の時点で最終奥義『七花八裂』以外の技を修得している。（一応、免許皆伝）

噛ませ犬キャラ

【名前】

うちはアキト

（C V…小野大輔 代表キャラ…W o r k i n gの佐藤潤）

【顔立ち】

原作第二期のサスケと同じ（別名、堕ちたサスケ）

【髪型】

ツンツンヘアー（原作サスケと同じ）

【生年月日／星座】

7月30日／獅子座

【年齢（原作開始時）】

12歳

【身長／体重（原作開始時）】

150.8cm（原作サスケと同じ）／42.2kg（原作サスケと同じ）

【血液型】

AB型

【性格】

クール、強がり、粘着気質、八つ当たり、被害妄想 e t c、 e t c

【好きな食べ物】

トマト、おむすび（おかか）

【嫌いな食べ物】

納豆

【戦ってみたい相手】

うちはサスケ、うちはイタチ

【好きな言葉】

力

【趣味】

修行、散歩

【忍者登録番号】

012606

【血継限界・血継淘汰】

『写輪眼』（『血継限界』）

【特殊能力】

無し（11話まで）

【得意な忍術】

『火遁』、『雷遁』

【性質変化】

火、雷

【総合能力…潜在能力…運】
3…5…2

アカデミー
【忍者学校卒業年齢】
12歳

【中忍昇格年齢】

【任務経験】

【任務経験】

Dランク7回、Cランク0回、Bランク1回、Aランク0回、S
ランク0回（第三章時）
Dランク7回、Cランク1回、Bランク2回、Aランク0回、S
ランク0回（第八章時）

登場キャラ装備品一覧（最終話時）

うちはサスケの装備品

スーパー宝貝バオベエ『禁鞭』

スーパー宝貝『盤古幡』

スーパー宝貝『六魂幡』

斬魄刀『斬月』ざんぱくとう（卍解修得）

斬魄刀『侘助』

魔導具『鋼金暗器』

魔導具『嘴王』

魔導具『帝釈廻天』

チャクラ式擬似GNトリプレットドライヴ搭載型アームドデバイス
『ストラーダ』

変形刀『時雨金時』

『死ぬ気丸』

『Xグローブ』イクス（『XグローブVer. V・R』ボンゴレリングへの変更可能）

大宙のボンゴレリング（大空七属性の原型ボンゴレリングの融合系）

大空七属性のA＋Dランクリング（多数所持。全て未使用）

匣兵器（ボンゴレ匣ボックスからノーマル匣ボックス、収納匣まで多数所持）

神剣『龍神剣』

長刀『縫い針』（霧の忍刀七本の1つ）

断刀『首斬り包丁』（霧の忍刀七本の1つ）

鈍刀『兜割』（霧の忍刀七本の1つ）

雷刀『牙』（霧の忍刀七本の1つ）

大刀『鮫肌』（霧の忍刀七本の1つ）

妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形）

合剣『極』キワミ

妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形）

斬刀『鈍』ナマクラ

妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形） 賊刀『鎧』ヨロイ
妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形） 微刀『釵』カンザシ
妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形） 王刀『鋸』ノコギリ
妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形） 毒刀『鍍』メッキ
妖刀佐助変体刀・最上大業物（原典形） 界刀『玉』ギョク
妖刀佐助通常刀・最上大業物 長刀『逆刃刀・真打』
妖刀佐助通常刀・最上大業物 妖刀『初代鬼徹』
妖刀佐助通常刀・大業物 黒長刀『秋水』
妖刀佐助通常刀・良業物 長刀『雪走』
その他妖刀佐助通常刀&変体刀（所持者未定分を多数所持。試し斬りを除けば未使用）

傀儡佐助・最上大業物『金秘技・枝芭』かねひぎ エヴァ
傀儡佐助・最上大業物『金秘技・刃崙』バロン
傀儡佐助・最上大業物『金秘技・皇帝竜 豪零武』インペリアルドラモザゴンモード
傀儡佐助・大業物『銀秘技・豪零武』ゴレム
傀儡佐助『銀秘技・皇帝竜 竜型』インペリアルドラモザゴンモード（拳士型への可変可能）
その他傀儡佐助（所持者未定分を多数所持。試験稼働を除けば未使用）

その他通常忍具（基本武装なので多数所持。『口寄せ』用の巻物も含まれる）

うちはイタチの装備品

大空のヴァリアーリング ボックス
大空属性の生物型匣兵器『天馬』カヴァッロ・アラート
妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形） 多刀『蛇』ヘビ

妖刀佐助通常刀・大業物 長刀『緋炎』
その他通常忍具（基本武装——以下略——）

うちはミカゲの装備品

チャクラ式擬似GNツインドライヴ搭載インテリジェントデバイス
『レイジングハート+』
プラス

雲のボンゴレリング（原型）

雲属性の生物型匣兵器 ボックス『雲ハリネズミVer.V』
ボルコスビーノ・ヌーヴオラ

雲属性の生物型匣兵器 ボックス『雲ハリネズミ』
ボルコスビーノ・ヌーヴオラ（オリジナル）

雲属性の生物型匣兵器 ボックス『雲ハリネズミ』
ボルコスビーノ・ヌーヴオラ（複製品。2つ所持）

妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形） 薄刀『針』
ハリ

妖刀佐助変体刀・最上大業物（原典形） 変刀『錆』
サビ

妖刀佐助通常刀・最上大業物 式刀『零毀』

その他通常忍具（——以下略——）

うちは白の装備品

雨のボンゴレリング（原型）

雨属性の生物型匣兵器 ボックス『雨燕Ver.V』
ローンディネ・ディ・ピオッジャ

雨属性の生物型匣兵器 ボックス『雨犬Ver.V』
カーネ・ディ・ピオッジャ

雨属性の生物型匣兵器 ボックス『雨燕』
ローンディネ・ディ・ピオッジャ（オリジナル）

妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形） 千刀『ツルギ？』
妖刀佐助通常刀・最上大業物 妖刀『北斗七星』
その他通常忍具（――以下略――）

うちはアマルの装備品

雷のボンゴレリング（原型）
雷属性の生物型匣兵器『雷牛Ver.V』
雷属性の生物型匣兵器『黒狐』
妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形） 誠刀『ハカリ銚』
妖刀佐助通常刀・最上大業物 妖刀『北落師門』
傀儡佐助・大業物『銀秘技・夷腕坊参號機』
傀儡佐助・業物『緑秘技・叉鬼江瑠』
その他通常忍具（――以下略――）

うちは多由也の装備品

魔導具『魅虚斗』
魔導具『白髭』
魔導具『大飛』
霧のボンゴレリング（原型）
霧属性の生物型匣兵器『霧フクロウVer.V』

霧属性の生物型匣兵器『霧フクロウ』（オリジナル）
妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形）（オリジナル）
妖刀佐助通常刀・最上大業物 妖刀『護りの小太刀』
その他通常忍具（――以下略――）

うちは香鱗の装備品

チャクラ式擬似GNツインドライブ搭載インテリジェントデバイス
『バルディッシュ^{プラス}』

晴のボンゴリング（原型）

晴属性の生物型匣兵器『晴カンガル^{ボックス}Ver.V』（ボンゴレ）

晴属性の生物型匣兵器『晴カンガル^{ボックス}』（オリジナル）

晴属性の道具型匣兵器『晴コテ』（サルダトリー・デル・セレーノ）

妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形）（悪刀『鏢^{ビタ}』）

妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形）（弦刀『鈴^{スズ}』）

その他通常忍具（――以下略――）

うちはハクトの装備品

チャクラ式擬似GNツインドライブ搭載ストレージデバイス『デュ
ランダル』

嵐のボンゴリング（原型）

ハイドロリング（雨属性のAランクリング）
フロートリング（雲属性のAランクリング）
アポロンリング（晴属性のAランクリング）
ボルテイツクリング（雷属性のAランクリング）
嵐属性の生物型匣兵器『嵐猫Ver. V』
嵐属性の生物型匣兵器『嵐猫』（オリジナル）
嵐属性の道具型匣兵器『赤炎の矢』
嵐属性の道具型匣兵器『S I S T E M A C . A . I . 用リング』（用途別で16個所持）

妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形）双刀『鎚』
妖刀佐助変体刀・業物（初期型）斧刀『狂』
妖刀佐助通常刀・大業物 巨大剣『竜殺剣』
妖刀佐助通常刀・業物 斬馬刀『佐之』
推進力付起爆筒（多数所持）
その他通常忍具（――以下略――）

ふうま（うちは）ササメの装備品

『死ぬ気丸』
『Xグローブ』（『XグローブVer. V. R.』への変更可能）
大空のボンゴレリング（原型）
大空属性の生物型匣兵器『天空ライオンVer. V』
妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形）炎刀『銃』
その他通常忍具（――以下略――）

番外編

うずまきナルトの装備品

宝具『^{ゲート・オブ・バビロン}王の財宝』（中に多数の宝具、宝貝、斬魄刀、魔導具 e t c
e t c が大量に入っている）

大地のシモンリング

妖刀佐助変体刀・最上大業物（完成形） 元刀『^{シヨウ}晶』

妖刀佐助通常刀・最上大業物 長刀『無限刃』

妖刀佐助通常刀・最上大業物 長刀『九ノ字兼定』

妖刀佐助通常刀・最上大業物 妖刀『^{ねね}衾々切丸^{きりまる}』

妖刀佐助通常刀・最上大業物 妖刀『天狼』

妖刀佐助通常刀・最上大業物 妖刀『紫微垣』

妖刀佐助通常刀・大業物 長刀『和同一文字』

妖刀佐助通常刀・大業物 長刀『桔梗仙冬月』

妖刀佐助通常刀・大業物 黒短刀『七つ夜』

妖刀佐助通常刀・良業物 陽剣『干将』

妖刀佐助通常刀・良業物 陽長剣『干将・改』

妖刀佐助通常刀・良業物 長刀『六幻』

特注苦無（多数所持。『飛雷神の術』の術式が刻まれてる。）
その他通常忍具（――以下略――）

日向ヒナタの装備品

妖刀佐助通常刀・最上大業物 破魔刀『銀竜』
妖刀佐助通常刀・良業物 陰剣『莫耶』
妖刀佐助通常刀・良業物 陰長剣『莫耶・改』
その他通常忍具（――以下略――）

日向ハナビの装備品

妖刀佐助通常刀・大業物 青龍偃月刀『冷艶鋸』
その他通常忍具（――以下略――）

雪氷華^{ヒョウカ}の装備品

妖刀佐助通常刀・大業物 妖刀『水魔乃太刀』

その他通常忍具（――以下略――）

草木（千手）サクノの装備品

妖刀佐助通常刀・良業物 連鎖小太刀『双鯨』
その他通常忍具（――以下略――）

はたけカカシの装備品

妖刀佐助通常刀・大業物 長刀『夜魔刀』
その他通常忍具（――以下略――）

うちはオビトの装備品

妖刀佐助通常刀・良業物 太刀『光輪剣』
その他通常忍具（――以下略――）

うちはリンの装備品

妖刀佐助通常刀・良業物 霊剣『霊剣荒鷹』
その他通常忍具（――以下略――）

妖刀佐助&傀儡佐助 紹介

【妖刀佐助】

《最上大業物》

変刀『錆』サビ

【備考】

オリジナル原典形変体刀。詳しい説明は解説参照

界刀『玉』ギョク

【備考】

オリジナル原典形変体刀。刀身がルビーの『宝石剣』キシユア・ゼルレッチ

元刀『晶』シヨウ

【備考】

オリジナル完成形変体刀。『次元刀』の能力を有した『宝石剣』キシユア・ゼルレッチ。
元ネタは型月に登場する限定魔術礼装『宝石剣』

骨刀『蔓』ツル（所持者…なし）

【備考】

オリジナル完成形変体刀。形状は『蛇尾丸』サイズの『狒々王蛇尾丸』

石剣『布都御魂剣』フツノミタマノツルギ（所持者…なし or 阿弥陀丸？）

【備考】

チャクラ刀の金属と同性質の硬石で造られた石剣。実戦武器ではなく、術の媒介に使用する補助忍具としての役割を高い。元ネタはシヤーマンキングの麻倉家に伝わる家宝

合剣『極』キワミ

【備考】

オリジナル完成形変体刀。元ネタはF F F ? A Cに登場したクラウドの合体剣

多刀『蛇』ヘビ

【備考】

オリジナル完成形変体刀。形状は刀語で登場する『永劫鞭』えいごうべんと、鞭刀『薄』はくの融合体

弦刀『鈴』スズ

【備考】

オリジナル完成形変体刀。形状の元ネタはG e t B a c k e r sで登場する風鳥院 花月の弦入り鈴

絶刀『鉋』カンナ

【備考】

元ネタは刀語に登場する四季崎完成形変体刀十二本の一振

斬刀『鈍』ナマクラ

【備考】

元ネタは刀語に登場する四季崎完成形変体刀十二本の一振

千刀『?』ツルギ

【備考】

元ネタは刀語に登場する四季崎完成形変体刀十二本の一振

薄刀『針』ハリ

【備考】

元ネタは刀語に登場する四季崎完成形変体刀十二本の一振

賊刀『鎧』ヨロイ

【備考】

元ネタは刀語に登場する四季崎完成形変体刀十二本の一振

双刀『鎚』カナヅチ

【備考】

元ネタは刀語に登場する四季崎完成形変体刀十二本の一振

悪刀『鏢』ビタ

【備考】

元ネタは刀語に登場する四季崎完成形変体刀十二本の一振

微刀『釵』カンザシ

【備考】

元ネタは刀語に登場する四季崎完成形変体刀十二本の一振

王刀『鋸』ノコギリ

【備考】

元ネタは刀語に登場する四季崎完成形変体刀十二本の一振

誠刀『銚』ハカリ

【備考】

元ネタは刀語に登場する四季崎完成形変体刀十二本の一振

毒刀『鍔』メッキ

【備考】

元ネタは刀語に登場する四季崎完成形変体刀十二本の一振

炎刀『銃』ジュウ

【備考】

元ネタは刀語に登場する四季崎完成形変体刀十二本の一振

黒長刀『夜』（所持者…なし）

【備考】

元ネタはONE PIECEに登場する刀剣。王下七武海の1人・鷹の目のミホークの愛刀

式刀『零毀』

【備考】

元ネタは天上天下に登場する妖刀。人を殺した回数分、刀身の乱れ刃が増える

長刀『逆刃刀・真打』

【備考】

元ネタはるろうに剣心に登場する刀。緋村剣心の愛刀

長刀『無限刃』

【備考】

元ネタはるろうに剣心に登場する刀。志々雄真実の愛刀

長刀『九字ノ兼定』

【備考】

元ネタは空の境界に登場する刀。両儀式の愛刀

破魔刀『銀竜』

【備考】

元ネタはツバサーRESERVoir CHRONICLEに登場する刀。黒鋼の生家・諏倭領主一族に伝わる家宝

破魔刀『維斗^{いと}』（所持者…なし）

【備考】

元ネタはPS2ソフト・アカイトに登場する刀。本作での形状は『柰々切丸』や『数珠丸』と同型。違いは柄頭の赤い飾り房があるかないか

能力面は原作ぬらりひよんの孫に登場する『柰々切丸』の強化版。妖魔や？チャクラ？を斬ることができるが、人間は斬れない

妖刀『初代鬼徹』

【備考】

元ネタはONEPIECEに登場する刀剣。形状は長刀

妖刀『天狼』

【備考】

元ネタはSAMURAI DEEPER KYOに登場する妖刀村正の一振。形状は長刀

妖刀『紫微垣』

【備考】

元ネタはSAMURAI DEEPER KYOに登場する妖刀村正の一振。形状は長刀

妖刀『北落師門』

【備考】

元ネタはSAMURAI DEEPER KYOに登場する妖刀村正の一振。形状は三叉槍

妖刀『北斗七星』

【備考】

元ネタはSAMURAI DEEPER KYOに登場する妖刀村正の一振。形状は双刀型の長刀

妖刀『護りの小太刀』

【備考】

元ネタはSAMURAI DEEPER KYOに登場する妖刀村正の一振。形状は小太刀

妖刀『衾々切丸』
ねねきりまる

【備考】

元ネタはぬらりひよんの孫に登場した妖怪だけを斬れる妖刀。形状は長ドス

妖刀『数珠丸』
じゆずまる（所持者…なし）

【備考】

オリジナル妖刀。形状と能力は『衾々切丸』とほぼ同じで、『衾々切丸』との違いは柄頭に飾り房と数珠が付いているかないかだけ

《大業物》

鞭刀『薄』
ハタ（所持者…なし）

【備考】

オリジナル後期形変体刀。形状の元ネタはるろうに剣心で登場する『薄刃乃太刀』
はくじんのおち

大太刀『贄殿遮那』
にえとのしやな（所持者…なし）

【備考】

元ネタは灼眼のシャナに登場する宝具。シャナの愛刀

大太刀『七天七刀』（所持者…なし）

【備考】

元ネタはとある魔術の禁書目録インデックスに登場する刀。神裂火織の愛刀

大刀『天羽々斬』アメノハバキリ（所持者…なし）

双長刀『剛烈剣』（所持者…なし）

【備考】

元ネタは鎧伝サムライトルーパーに登場する刀

黒長刀『秋水』

【備考】

元ネタはONEPIECEに登場する刀剣

長刀『春雨』（所持者…なし or 阿弥陀丸？）

【備考】

元ネタはシャーマンキングに登場する刀。阿弥陀丸の愛刀

長刀『緋炎』

【備考】

元ネタはツバサーVESERVOIR CHRONICLEに登場する刀。小狼の愛刀

長刀『和道一文字』

【備考】

元ネタはONEPIECEに登場する刀剣

長刀『桔梗仙冬月』

【備考】

元ネタはるろうに剣心に登場する刀。比古清十郎の愛刀

長刀『夜魔刀』

【備考】

元ネタはツバサーRESERVOIR CHRONICLEに登場する刀。夜叉王の愛刀

長刀『蒼氷』（所持者…なし）

【備考】

元ネタはツバサーRESERVOIR CHRONICLEに登場する刀。一時期、黒鋼の愛刀だった

長刀『修羅刀』（所持者…なし）

【備考】

元ネタはツバサーRESERVOIR CHRONICLEに登場する刀。阿修羅王の愛刀

神剣『天空桜』（所持者…なし）

【備考】

元ネタはRAVEに登場する刀。シュダの愛刀で妖刀『炎天下』の中身でもある

霊剣『神刀滅却』（所持者…なし）

【備考】

元ネタはサクラ大戦シリーズに登場する二剣二刀の一振。大神一郎の愛刀

聖刀『神打多』かんだた（所持者…なし）

【備考】

元ネタは神tO戦国生徒会に登場する刀。神楽トオルの愛刀

宝刀『神名技』かななぎ（所持者…なし）

【備考】

元ネタは神tO戦国生徒会に登場する刀。葛城武蔵の愛刀

妖刀『二代鬼徹』 （所持者…なし）

【備考】

元ネタはONEPIECEに登場する刀剣。形状は長刀

妖刀『水魔乃太刀』

【備考】

元ネタはY A I B Aに登場する刀。水を操る能力を持つ

獣剣^{じゅうけん}『獅子』 （所持者…なし）

【備考】

見た目の元ネタはコトブキヤM・S・Gウェポンユニット15・ビーストソード

巨大剣『竜殺剣』

【備考】

元ネタはベルセルクに登場する大剣。ガッツの愛剣『ドラゴン殺し』

黒短刀『七つ夜』

【備考】

元ネタは月姫に登場する短刀。遠野（七夜）志貴の愛刀

青龍偃月刀『冷艶鋸』

《良業物》

太刀『光輪剣』

【備考】

元ネタは鎧伝サムライトルーパーに登場する太刀

長刀『花洲』（所持者…なし）

【備考】

元ネタはONE PIECEに登場する刀剣

長刀『山嵐』（所持者…なし）

【備考】

元ネタはONE PIECEに登場する刀剣

長刀『雪走』

【備考】

元ネタはONE PIECEに登場する刀剣

長刀『菊一文字』（所持者…なし）

長刀『虎徹』（所持者…なし）

長刀『六幻』

【備考】

元ネタはD・Gray-manに登場するイノセンス。エクソシスト・神田ユウの愛刀

双刀『烈火剣』（所持者…予定ではヤマト。現時点ではなし）

【備考】

元ネタは鎧伝サムライトルーパーに登場する刀

霊剣『霊剣荒鷹』

【備考】

元ネタはサクラ大戦シリーズに登場する二剣二刀の一振。真宮寺さ

くらの愛刀

宝剣『宝雷剣』（所持者…なし）

【備考】

実戦武器ではなく、術の媒介に使用する補助忍具。元ネタはシャーマンキングの道家に伝わる宝剣タオ

妖刀『炎天下』（所持者…なし）

【備考】

元ネタはRAVEに登場する刀。シュダの愛刀で、刀身の中には神剣『天空桜』がある

陽長剣『干将・改』

【備考】

元ネタは型月系同人誌？SWORD DANCERS？シリーズに登場する弓兵娘アチャ子の愛刀

陰長剣『莫耶・改』

【備考】

元ネタは型月系同人誌？SWORD DANCERS？シリーズに登場する弓兵娘アチャ子の愛刀

陽剣『干将』

【備考】

元ネタはFate/stay nightに登場する弓兵アーチャーの愛刀

陰剣『莫耶』

【備考】

元ネタはFate/stay nightに登場する弓兵アーチャーの愛刀

連鎖小太刀『双鯨』そうちう

【備考】

柄頭に鎖が付いた二刀小太刀。能力の元ネタ刀語に登場する真庭忍軍十二頭領の1人・真庭喰鯨の忍法『渦刀』

三叉槍『二条槍』（所持者…なし）

【備考】

元ネタは鎧伝サムライトルーパーに登場する刀

《業物》

長刀『時雨』（所持者…なし）

【備考】

元ネタはONE PIECEに登場する刀剣

妖刀『三代鬼徹』（所持者…なし）

【備考】

元ネタはONE PIECEに登場する刀剣。形状は長刀

斧刀『狂』キョウ

【備考】

妖刀佐助の初期形変体刀。見た目の元ネタはFate／stay
nightに登場する狂戦士バーサーカーの斧剣

斬馬刀『佐之』

【備考】

元ネタはろうに剣心に登場する刀。見た目の元ネタは相良左之助の愛刀・斬馬刀

十字槍『虎翼』

【備考】

元ネタはSAMURAI DEEPER KYOに登場する槍。前所持者はうちはミカゲで大蛇丸との戦闘で破壊されている

詳細説明

変刀『錆』^{サビ}

サスケが『天目一箇』^{アメノマヒツ}でナルトから貰った『時雨金時』を解析し、作った最初のチャクラ変体刀（変形型）。

見た目は太い木の枝だが構造は仕込杖のようになっており、中には刃引きされた刀身が収められている。

通常時は封印が施されており、特定周波数の？チャクラ？を流し込まなければ鞘から抜くことができない。

封印が解かれて引き抜かれた刀身は？チャクラ？を流すことで刀身部分のみが姿を変える。（変える姿は妖刀佐助のチャクラ刀、及びチャクラ変体刀）

刀身部分の変化はランダムとなっており、作者であるサスケですら予測不能。完了形変体刀・虚刀『佐助』の対になる全刀を生み出す為だけに存在する変体刀。（鞘に納めた状態でも戦うことを想定している）

原典ではあるが故に他の妖刀佐助と勝負した場合、負ける可能性がある。（例：薄刀『針』VS変刀『錆』＜薄刀『針』ver＞の場合、薄刀『針』は特化型で変刀『錆』は全能型（器用貧乏）な為、勝てる可能性は低い）

傀儡佐助

《最上大業物》

『金秘技・騎士終焉』
オメガ

（所持者…なし）

【備考】

形状はデジモンに登場するオメガモン

『金秘技・枝芭』
エヴァ

【備考】

形状は（量産型エヴァ十るろ剣の夷腕坊・参號）÷2。サイズは夷腕坊

『金秘技・刃崙』
バロン

【備考】

形状は武装鍊金のバスターバロン。サイズは15mくらい

『金秘技・皇帝竜 聖騎士型』
インペリアルドラゴンデインモード

【備考】

形状は劇場版デジモン02に登場するインペリアルドラモン・パラデインモード

《大業物》

『銀秘技・是流江瑠』
ゼルエル

（所持者…なし）

【備考】

形状はTV版エヴァのゼルエル。サイズは約2mくらい

『銀秘技・阿弥陀丸白鵠』（所持者…なし）

【備考】

良業物の阿弥陀丸と妖刀佐助の春雨&フツノミタマノツルギを組み合わせた物

『銀秘技・君麻呂』（所持者…なし）

【備考】

君麻呂の遺体を元に造り上げた人傀儡

『銀秘技・豪零武』
ゴーレム

【備考】

形状はシャーマンキングのルドセブとセイラームの媒介のゴーレム。
サイズは原寸大

『銀秘技・皇帝竜』
インペリアルドラゴンモード
竜型

【備考】

形状はデジモン02に登場するインペリアルドラモン・ドラゴンモード

『銀秘技・皇帝竜 拳士型』
インペリアルドラゴンモード

【備考】

形状はデジモン02に登場するインペリアルドラモン・ファイターモード。ドラゴンモードから可変する

『銀秘技・夷腕坊参號機』

【備考】

形状はるろうに剣心に登場する参號夷腕坊・猛襲型

《良業物》

『青秘技・阿弥陀丸』あおひぎ（所持者…なし）

【備考】

形状はシャーマンキングの阿弥陀丸

『青秘技・夷主羅賦江瑠』イスラフエル（所持者…なし）

【備考】

形状はTV版エヴァのイスラフエル。二体一对でサイズは約2mくらい

『青秘技・参雫瑠風』サンダルフォン（所持者…なし）

【備考】

形状はTV版エヴァのサンダルフォン。二体一对でサイズは約2mくらい

《業物》

『緑秘技・紗无刺江瑠』シャムシエル（所持者…なし）

【備考】

形状はTV版エヴァのシャムシエル。サイズは約2mくらい

『緑秘技・叉鬼江瑠』サキエル

【備考】

形状はTV版エヴァのサキエル。サイズは約2mくらい

『万華鏡写輪眼』瞳術一覽

術名…『天照』
アマテラス

【能力】

使用には大量の？チャクラ？を必要とするため使用回数は制限されるが、その効果は一般的な術の範疇ではない。

燃やしたい所を瞳力の宿る方の『万華鏡写輪眼』で目視し、ピントが合うだけでその視点から太陽の如き高温の黒い炎が発生する。

使用すると相手の『火遁』の術さえも燃やし、その黒い炎は対象物が燃え尽きるまで消えない。仮に対象が逃げようとしても、視界に入る限り逃れる事はできない。（逆に言えば、視界から逃れることさえ出来れば回避は可能）

また、炎の量は眼の開き具合で決めることも可能であり、眼を閉じることでも鎮火も可能。術を使用した時の？チャクラ？の量が多い（威力が高い）程、眼球への負担が大きくなり出血を伴う。（サスケや永遠の『万華鏡写輪眼』所持者は出血しない）

術名…『転写封印・天照』

【能力】

『天照』の効力を第三者に封じる。第三者が特定の人物を見ると、『天照』が強制的に発動される。その際、第三者の『写輪眼』は効力を封じた者と同じ『万華鏡写輪眼』の目の文様へと変化する。

『天照』を使用できる『万華鏡写輪眼』開眼者であれば誰でも使用可能。

術名…『月読』
ツクヨミ

【能力】

瞳力の宿った目を見た相手に術者が時間や空間、質量などあらゆる物理的要因を支配する自らの精神世界へと対象を引きずり込み、相手に無間地獄を体験させる幻術。

『月読』は一般的な幻術とは違い、相手の意識に直接干渉し“実際に体験していると錯覚させる”術であり、なおかつ時間さえも操れる為、術者は隙を作らずに対象に効果を及ぼすことが可能。

その性質より常人でこの幻術を見抜くことは皆無であり（そもそも術にかかっていることが察知できない）、それ故に幻術でも最高峰の術と恐れられている。

幻術である為、相手に対しては物理的（肉体的）な殺傷力は全く無いものの、与える精神的なダメージは計り知れない。『天照』と同じく使用には大量のチャクラを必要とする。

術名…『炎遁・加具土命』
カグツチ

【能力】

“うちの家紋は火を操るうちはを持つ者の意”と伝えられる様に、うちは一族でも扱うことが容易ではない『火遁』の最高峰『天照』をも操ることができる能力。

『天照』が大量の？チャクラ？を使用するのに対し、比較的少ないチャクラ消費（反動）で済む。

また、『天照』を一瞬だけ発動し、その炎を使い続けることで『天照』の使用頻度を減らし、視力低下を緩めるという使い方もできる。

術名…『神威』
カムイ

【能力】

結界空間を視界に展開し、術者の任意の範囲内の物質を別空間へ転送する術。結界空間の展開時は範囲となる空間が歪んで見える。

対象の体を物理的に引きちぎると言った強力な殺傷能力の他、発動

した相手の術を空間ごと別の場所に飛ばして不発させるなど高い応用性と効果を合わせ持つ術。

術名…『別天神』コトアマツカミ

【能力】

瞳術最強の幻術。術者が幻術をかけた対象は、幻術を掛けられたと自覚することなく操られる。

また、対象側が何らかの術で操られている状態であろうと、『別天神』をかけた時点でその術を打ち消し、対象を操ることができる。

術名…『思兼』オモイカネ

【能力】

『万華鏡写輪眼』で最高峰の殺傷性と速さ、貫通力のある攻撃系瞳術。ぶっちゃければ目からビームな瞳術で、ペイン天道の『神羅天征』と同じで5秒程度のタイムラグがあり、連射はできない。

ただ、ビームということもあり、発射速度は光速。一部の例外を除けばどんなに堅牢な防御であってもそれを貫通し、射線上にいる者を容赦なく殺す。

速度が速度なんで発射後の回避はほぼ不可能だが、視線の直線状が射線上でもあるので、それに気付かれると回避も可能。

視線を移動させることでビームも動かせるが発射（照射）時間がそれ程長くないのであまり意味が無い。（照射時間は10～15秒）

術名…『神魂命』カミムスビ

【能力】

スサノオ

『須佐能乎』に匹敵する防御力を誇る防御系瞳術。ぶっちゃければ『A・T・フィールド』。物理攻撃は勿論、『月読』などの精神攻

撃系幻術も防御可能。『思兼』の攻撃を防ぎ切れる数少ない防御術。また、一転に集中させることで欠損した体の一部を形成することが可能で、攻撃手段に転換することが可能。（例…鋭利な刃物として飛ばしたり、地面と『神魂命』で挟んで圧殺などが可能）

基本的な使用方法が防御なので防御系に属するが、実際は万能型の瞳術である。

術名…『天目一箇』
アメノマヒトツ

【能力】

『万華鏡写輪眼』で最強の解析力を持つ補助系瞳術。ぶっちゃければ（大）伝説の勇者の伝説に登場する完全版の『複写眼』アルファ・ステイグマ。空間を見るだけでそこに展開しつつある術式構成を解析し、強制解除することが可能。

ただし、術の威力によって強制解除時に使用するチャクラ量が変わり、ハイレベルな術や技であるほど強制解除時のチャクラ消費は激しい。

例えば、ナルトの『王の財宝』ゲート・オブ・パレロンに収められている『乖離剣』エアの『天地乖離す開闢の星』などは10回も解除したら？チャクラ？が空になる。

また、術式だけでなく物質や生物も解析でき、大刀『鮫肌』などを解析すれば、その構造を理解し、人と融合できるチャクラ刀の生産が可能となる。（大量生産が可能かについてはさて置き）

術名…『玖螺御津』
クラミツ

【能力】

『万華鏡写輪眼』で割とシヨボい幻術系瞳術。ぶっちゃければ刀語の彼我木輪廻ひがきりんねの能力。

自分を見る対象に自分の姿がその者の最も苦手な存在に見える様に

する幻術。相手を精神的に追い込んだり、不意を突くのに有効な術である。俗世から離れた仙人を名乗るのには必須の術でもある。

術名…『阿修羅』
アシュラ

【能力】

『万華鏡写輪眼』で最優の身体強化系瞳術。ぶっちゃければ（大）伝説の勇者の伝説に登場する『殲滅眼』^{イーノ・ドゥーエ}。

空間に存在する自然エネルギーや自身に放たれるあらゆる術を吸収し、己の身体強化と？チャクラ？への還元が可能。（人を喰らうことはできない）

自然エネルギー吸収時は原作の自来也やナルトが使っていた仙人モードと同等の能力を得られる。（ただし、外見の変化はなく、蛙石化する危険性もない）

また、『阿修羅』発動時に自身が術を使えなくなるということはない。飽く迄も吸収するのは自分を除く他者の術のみ。自身の術は吸収の対象外。（つまり、自身の術を反射された場合は吸収することができない）

術の吸収の際は術の威力によって吸収できるチャクラ量が変わり、ハイレベルな術や技であるほど吸収しにくくなる。

例えるならば、『冥遁・吸血孔』以上ペイン餓鬼道の吸収力以下。故に『風遁・螺旋手裏剣』などの奥義・極意級の術は吸収しきれない。（それでも8割近くまで吸収して威力を減衰できる）

ナルトの『王の財宝』^{ゲート・オブ・バビロン}に収められている『乖離剣』^{エア}の『天地乖離す開闢の星』^{エリシユ}などを吸収した場合、威力を7割まで減衰できれば十分。本来の『殲滅眼』^{イーノ・ドゥーエ}が術のエネルギー吸収を主とし、自然エネルギーの吸収を副^{サブ}としているのに対し、『阿修羅』は自然エネルギーの吸収を主とし、術のエネルギーからの吸収を副^{サブ}としている。

有効な使用方法是『天目一箇』との併用。『阿修羅』で対象の術を吸収・減衰させ、残ったのを『天目一箇』で解析・解除するのが常

套手段。

術名…『天爪羅』
アマツマラ

【能力】

『万華鏡写輪眼』で最高峰の切断力を持つ攻撃系瞳術。ぶつちやければA R M Sに登場するアドバンスドA R M S『チェシヤ猫』キャットの能力。

視界のピントさえ合えば対象の強度や物理特性を無視し、あらゆる物体を斬り裂く空間断裂を生み出せる。

サスケの場合、『白眼』能力と三尾の？チャクラ？を併用することで広範囲かつ無死角・高密度の空間断裂を生み出すことも可能。

術名…『玖枝那雫』
クシナダ

【能力】

『万華鏡写輪眼』最高峰の治療系瞳術。視界に入った対象の傷を癒す。また、治療対象に自分の？チャクラ？の一部を譲渡することが可能。

治療人数や？チャクラ？の移譲人数は使用者のチャクラ量で決まる。

『天目一箇』と同じく『阿修羅』との併用が常套手段。

術名…『宿儺』
スクナ

【能力】

補助系瞳術。視界に入った対象（傀儡などの生命体以外の物体）に自身の魂の一部を憑依させ、自律行動をさせることが可能。

ぶちやければ、鋼の錬金術師－シャンバラを征く者－のアルフォンスⅡエルリックがやってたアレ。

メリットは憑依対象が潰されても宿らせた魂が潰される訳ではなく、

自動的に術者に戻って来るので何の影響も無いこと。デメリットは制限時間が存在し、一度の憑依で活動可能なのは1時間だけということ。

また、物体に宿らせた魂が『須佐能乎』の『十拳剣』などで封印された場合は、本体の寿命が縮むが死ぬことは無い。

術名…『伊邪那美』
イザナミ

【能力】

『万華鏡写輪眼』で最高峰の感覚封印型幻術系瞳術。術者を中心とした直径300mに存在する敵と認識した対象の味覚・嗅覚・視覚・聴覚・チャクラ知覚の五感を封じる結界を展開する。

結界内で術をかけられた側に唯一残るのは触覚のみ。また。結界の外からは結界内の様子が分からない様になっている。

ぶっちゃければ、BLEACHの『鈴虫終式・閻魔蟋蟀』の能力。ただし、術者を掴んでも術が発動してる間は封印されてる五感はない。

術名…『武御雷』
タケミカヅチ

【能力】

『万華鏡写輪眼』の雷遁型攻撃系瞳術で、珍しく1つの瞳力に2つの能力を有している。

能力その1

視界に入った対象の上腕・鎖骨・喉笛・脳天・鳩尾・肋骨・辜丸・大腿・足首の9つの人体急所に視認不可なチャクラによるマーキングを刻み、それに向けて雷撃・電撃を放つもの。

術者が放った『雷遁』系の中・遠距離攻撃は自動追尾でマーキングに向かう。また、雷の『性質変化』を纏った得物も投擲された際にはマーキングへと向かう。

術者が瞳術を解くか、チャクラ切れにならない限りマーキングは消えることがなく、また放たれた『雷遁』系の術や雷の『性質変化』を纏った得物は標的を狙い続ける。

ぶっちゃけるなら、幽遊白書に登場する刃霧要の能力の『雷遁』ver。

能力その2

任意の座標に通常空間から切り離された結界空間を形成し、結界空間内に超高電圧の『雷遁』による攻撃を放つ。

術者が瞳術を解くか、チャクラ切れにならない限り結界空間が消えることなく、超高電圧攻撃も止まることは無い。

ぶっちゃけるなら。PSYRENの東雲嵐と夢路晴彦のコンビ技っぽいものの強化版。

術式…『天破槌』
アメノハツチ

【能力】

攻守を両立できる万能型空間操作系瞳術。術者を中心とした直径300mの空間に大気を圧縮変換した不可視のブロックを形成できる。ブロックは宙に固定することも可能で、立方体や刃場など、様々な形のブロックを作ることによって足場や防壁、罠などに応用できる。

ぶっちゃければ、PSYRENの空間操作系PSI能力『マテリアル・ハイ』。

術名…『羅刹』
ラセツ

【能力】

『万華鏡写輪眼』で最速の補助型移動系瞳術。空間内に存在している自然エネルギーの流れを読み取り、操ることができる。

また、『羅刹』発動時に足元に形成されるサーフボード状の不可視

の足場で自然エネルギーの流れに乗ることで高速移動が可能となる。
ぶっちゃければ、BLEACHの滅却師クインシーの技能である『飛廉脚』。

術名…『九十九』ツクモ

【能力】

補助型融合系瞳術。右目の視界に映った武器や防具と行った装具を自身の右腕に融合させる。ただし、融合できるのは意思を持たない武器であり、大刀『鮫肌』や斬魄刀との融合は不可。

（断刀『首斬り包丁』などの所有者を選ぶ程度で明確な意思を持たない武器との融合は可）

また、武器との融合時にはその武器の特性を右腕に宿すことができる。（例…断刀『首斬り包丁』と融合時は右腕が損傷しても、右腕に血を浴びせるだけで再生する）

ぶっちゃければ、ぬらりひよんの孫に登場した花開院八十流けいかいん やそ陰陽術『憑鬼槍』の発展型。

術名…『八咫鴉』ヤタガラス

【能力】

認識阻害型幻術系瞳術。特殊な？チャクラ？の膜を自分の周辺に展開することで光を屈折させ、相手（複数も可）に自分の位置を誤認（認識阻害）させる。

この時、視覚だけでなく聴覚や嗅覚、チャクラ知覚まで誤認させる。飽く迄、誤認させる術なので感覚封印の『伊邪那美』とは別物。

？チャクラ？の膜を断ち斬られると認識阻害が解かれる。また、相手を攻撃する瞬間も一時的に認識阻害が解かれる。

ぶっちゃければ、とある科学の超電磁砲に登場した『偏光能力』と、ぬらりひよんの孫に登場した『鏡花水月』の融合系。？チャクラ？の燃費は『伊邪那美』より断然いい。

術名…『普賢』
フゲン

【能力】

攻守一体型物理（自然？）干涉系瞳術。右目の視界に入った空間内の元素を操作できる。強制相転移や電気分解、核融合&斥力の操作も可能となっている。

サスケの場合、『白眼』の能力と併用すれば更に広範囲空間の元素を操ることもできるが、？チャクラ？の燃費が非常に悪いので『阿修羅』との併用が必須となる。

（『阿修羅』と併用しなければ、20回程使用しただけで？チャクラ？が空になる）
ぶっちゃければ、封神演義に登場した普賢真人の宝贝『太極符印』の能力。

術名…『縞索』
ケンジャク

【能力】

補助型捕捉系瞳術。左目で捕捉した対象に攻撃誘導用のマーキングを施す。このマーキングに向かって右目に宿っている『思兼』のビームは向かって行き、対象を貫く。

サスケの場合、『白眼』の能力と併用すれば更に広範囲の対象にマーキングができる。また、『思兼』専用の補助瞳術。

ぶっちゃければ、封神演義に登場した公成子と殷郊の宝贝『番天印』の押印能力。

術名…『須佐能乎』
スサノオ

【能力】

左右の『万華鏡写輪眼』で異なる瞳術を開眼させること得られる第

三の瞳術。（サスケは例外）

使用すると人間の骸骨（主に胴体）の様な像が浮かび上がり、最終的に4本腕の鬼（天狗？）の様な顔をした巨人に変化する。（サスケの場合は例外で腕が100本ある）

『須佐能乎』自身、武器や防具を最大で腕の数だけ所持しており、開眼者によって武器の形状・能力が異なる。

プロローグ（前書き）

取り敢えず、改訂版プロローグです。

主人公であるサスケの口調をある程度関西弁で纏めて行こうと思ってます。（旧・2人の転生者－サスケ side－では標準語の所が多々あったので、改訂に伴い編集していかうと思います）

あとがきに今後の変更点や、それに関するアンケートを書いているので、良かったら見て下さい。

プロローグ

いきなりやけど俺は死んでもうた。いや、正確には“俺ら”や。俺だけやなくて、友人も死んでもうた。

で、幽霊的存在になった俺らは現在進行形でスプラッターとなった元・俺らの身体を見下ろしとるって所や。

「これはひどいな。吐けるものなら吐きたいけど、幽霊の俺らには叶わんか」

「その辺りはしょうがないから諦めた方がいいんじゃないか？」

「んなこと、分かっつとるっちゅうねん！」

で、何で俺らがこんなことになったかっていうと、久し振りに会ってアニ○イトやゲ○ズに行こうという話になり、目的地に向かって歩いてると、いきなり10トトラックが突っ込んできたんや。

その結果、俺らの身体は潰れたトマト風になったって訳や。……さて、これから一体どうすればええんやろう？

「セオリー的なもんを考えたら、死神や水先案内人が現れる所やな。俺は幽白のぼたんのキャラが現れることを期待する」

「何言っただ！！ここはBL〇ACH的死神が現れるのが良いに決まってるだろ！！特に夜一さんや碎蜂が現れたら最高だ！！」

「アホか！！これやから90年代後半から始まったジャンプに毒された奴は……。話にならんわ！！」

「何だと！！」

俺らがそんなアホなやり取りをしとったら、いつの間にか黒衣の外套を纏った4、5歳位の幼女がおって、俺らのことを見とった。

しかも、幼女の頭にはFat〇／stay nightの真アサシンが付けている髑髏の仮面がある。もしかして、この幼女が俺らの水先案内人で死神なんか？

そんなことを思っとなら、幼女は俺らの服を引っ張りだした。何や知らんけど、付いて来いって言っとなるみたいや。

その場で呆けとったり罵り合っとなったりしとっても意味ないし、俺らは幼女に付いて行くことにした。

この時、俺らは未確認生命体と遭遇する結果が待ち受けてるとは露ほども思わなかったんや。

で、その未確認生命体が目の前に居るボディビルダーの様なムキムキの体でポーキングしている爺や。しかも、軽く日焼けをして、健康的な一面をあからさまにアピールしてる。

余りに気持ち悪く、吐きたくても吐けへん為、膝を付くことしかできん。横目で友^{ダチ}を見ると、友^{ダチ}も気分悪そうに口に手を添えとった。

俺らのそんな状態を気に留めることなく、自分の筋肉を強調する様にポーキングを変えながら爺は話し始めた。

取り敢えず、俺は某方位家の末女の如く瞼を半分閉じた状態にしながらに爺の話を聞く。すると、驚いたことにどうやら爺は神様らしいことが判明した。しかも、俺らは本来死ぬべき存在やなかったらしい。

で、罪滅ぼしも兼ねて、現在の記憶を持ったまま、新しい人生を歩ませてくれるらしい。まあ、所謂転生って奴やな。

「あゝ…神さんや。俺らの転生先って、どこや？」

「NARUTOの世界じゃ」

よりによって、NARUTOかい！！めっちゃ、死亡フラグ満載な世界やんけ！！

「ちなみに憑依寄りの転生で、お主はうちはサスケ。もう一人の前はうずまきナルトになる」

「……おい。それは俺らに殺し合えって言っとるんか！！」

神のナンセンスなキャスティングに思わず俺は叫んだ。

「誰もそんなことは言うとらんわ。原作ブレイクでも何でも好きにしたらよい」

「…………おい。俺達の平穏な人生をぶち壊した揚句、そんな危険極まりない世界に転生させるんだから、それ相応の見返りは与えてくれるんだろうな？」

さっきまで黙りこんどった友^{ダチ}が口を開いた。確かにダチの言う通りや。それ相応の対価は欲しい所や！

「うむ。お主らの希望する能力などを4つまで与えよう」

「それは武器も含まれるのか？」

「当然じゃ」

マジでか！！？結構太っ腹やな、神！！

「やったら、まず俺の望みから言わせてもらおうで！！」

「うむ。言うてみい」

「まず、俺の開眼するであろう『写輪眼』に、『白眼』と型○に登場する『歪曲の魔眼』の能力を追加してくれ！！」

「ふむ…、分かった。ついでに生まれた時から『写輪眼』と『イザナギ』を使っても失明しない完全無欠な『万華鏡写輪眼』を使えるようにしてやろう。」

……む！そういえば、『イザナギ』の使用には千手一族の因子が必要じゃったな。面倒じゃから、六道仙人の因子を与えよう。……で、あと2つの願いは何じゃ？」

「鋼の○金術師の『鍊金術』。できれば、真理達成verであらゆる『鍊金術』を使用可能にしてくれ。あと、家庭教師○ットマンREBORN！の？死ぬ気の炎？を使える様にしてくれ」

「了解じゃ。『鍊金術』に関しては『鍊丹術』も使える様にしてやろう。？死ぬ気の炎？^{ボンゴレ}に關しても7つの属性を全て使えるようにしてやろう。ついでにアサリの超直感もな」

マジですか！！？神さん、あんた最高やわ。生まれ変わったら、忍びやのうて、神父になるかも。(笑)

「って、お前の方が90年代後半以降から始まったジャンプに毒されてるじゃねえか！！」

「五月蠅いわ！！REBORNは俺の正義^{ジャスティス}なんじゃ、ボケ！！」
「……………もう、何も言わねえ」

お前に比べたら汚染度はまだ低いわ、ボケが！…………で、こいつは男の望みを言うんかな？

「俺の望みを言うがいいか？」

「うむ、言うてみい」

「では…………。俺の望みは型○に登場する両儀式の『直死の魔眼』と英雄王の『王の財宝』^{ゲート・オブ・パレロン}、幽○白書の靈光波動拳。あとはBL○ACHに登場する黒崎一護の第二段階の『虚化』。勿論、角付きだ」

何！？？靈光波動拳やと！！！？

「お前！何で靈光波動拳やねん！！！？」

「富〇の原点に戻ろうと思ったただけだ」

「俺に対する嫌がらせやろ!!」

その後、俺と友^{ダチ}は言い争いとなった。補足だが、神は中々に憎いことをしたくれた。

どうやら、全性質変化と原作52巻までに登場した忍術の知識、それを扱えるだけの才能を与えてくれた。そして、言い争いが終わると――

「では、転生させるぞ?」

神がそう言い出した。そう言えば、転生する前に確認したいことがあったんやった。

「ちょい待ってくれ」

「何じゃ?」

「いや、白の性別を確認したくつてな。男なん?それとも女なん?」

返答によって俺のモチベーションが変わる。

「ふむ。今から行くお主達の世界は、正確には原作のNARUTOの並行世界じゃからな。白の性別は女となっておる」

マジですか！！？では、白嫁計画を発動させねば！！

「ちなみに九尾の『尾獣』は植物を操作する能力があり、幽白の妖狐・蔵馬の様に魔界の食人植物を召喚することも可能だ」

おいーーーー！！どんなチートっぷりやねん、それ！！

「では、もう聞きたいことも無さそうじゃし、転生させるぞ」

神がそう言うと同時に、俺とダチは強い光に飲み込まれた。

プロローグ（後書き）

という訳で、改訂版プロローグでした。ま、言うほど変化は無いんですけどね。

敢えて大きな変化があるとするなら、サスケが六道仙人の因子を含んでることでしょうか？

これにより『イザナギ』を普通に使える理由ができたと思います。そして、『輪廻眼』を開眼するフラグも……。

さて、今後の変更点についてなんですが、取り敢えず、3話で2人の転生者のI F作品であるSA☆SU☆KEに登場させた白の母親・雪さんを登場させようかな、とか思っています。

あっ！勿論、登場させる場合は名前を変更させます。だって、白の一族は雪一族ですから……。名前は雪^{ゆき} 氷華^{ひょうか}って考えてます。

イタチが帰って来る（作品終盤）まで、うちは一家には大人らしい大人が登場しなかったので、改訂版では大人キャラを登場させてもいいかな、とか思っただけです。（白の母親生存フラグにも繋がりますし……）

ま、読者の皆様が登場させる必要無し！と断じた場合は登場させません……。

ちなみに氷華さん（仮）生存フラグが可決された場合、サスケが旅に出た時の順路が変わります。

旧順路はアマル↓多由也↓白でしたが、改訂版順路は白↓アマル↓多由也になります。

順路についての説明は色々ややこしい（というか、長くなる）ので割愛。

他には生まれてからナルトと再会するまでの成長の流れを少し変えるのと、『万華鏡写輪眼』の形状をSA☆SU☆KE verに変更する予定です。

という訳で、ベースとなる旧・2人の転生者―サスケside―もあるのですが、頑張って速く更新できる様にしていきたいと思います。（勿論、inネギまの執筆を優先しますが、執筆が行き詰った時はこっちを更新します）

という訳で、改訂も気合を入れるぞ！ちえりおー！ちえりー！！ちえりおー！！！！

追伸

最終話まで改訂が終了するまで旧・2人の転生者―サスケside―は残して置きます。

第一話（前書き）

色々と会話を追加してみました。あと、サスケのフガク嫌いを強調しています。（笑）

追伸

あとがきにちょっとしたアンケートがあるので、答えて頂けると嬉しいです。

第一話

え〜と……。一度死んだ筈の俺は神さんのお陰で、無事(?) うち
はサスケに転生できたみたいや。

何故転生できたかということが分かるかというと、目を開いて最初
に視界に入って来たんが、うちはミコトやったからや。

しかも、視界に入る周囲は清潔感溢れる病室っぽい所。洗剤のCM
でも使われる“驚きの白さ!” っていうキャッチコピーがしつくり
くる。

取り敢えず、精神年齢が成人な野郎に授乳ってのは羞恥プレイ以外
の何ものでもないことが判明したことを伝えようか。……ま、赤
ん坊やから仕方ない行為なんやろうけど……。

……俺が目を開けてから数日後。ついに俺はオカンと一緒に退院す
ることになった。ついに心優しき兄貴・うちはイタチと生で会える
訳や。

あつ! あと、ついでにクーデターを起こす予定のうちは一族の筆頭
馬鹿で俺のオトンでもあるうちはフガクにも会うことになるねんな。
ま、フガクはどうでもええけど。

そんなことを思っていると、帰り道にポニーテールの婆と赤髪の綺麗

な人と遭遇した。婆アー！いい歳こいてポニーとかすんな、ボケえ！！

俺が心の中でそう絶叫してる間も、オカンと赤髪美人の会話は続く。そして、話の内容は俺のことになった。

「アレ？女の子だったっけ？」

「アウー、アウアー（俺は立派な男やでー）」

「ううん…、男の子…」

「ダウアー、ウー（オカン、ナイスフォロー）」

「元気な子ね。名前は何にしたの？ミコト…」

「ウイー、アウー（うちはサスケやでー）」

「サスケよ」

「おお。三代目の父上と同じかえ」

「アアー、ウアー（婆は喋んな！）」

ま、こんな感じの話と赤髪美人がもうすぐ出産って話がされた。詳しい描写は面倒なんで割愛させて貰うな。ちなみに赤髪美人の名前はうずまきクシナ。ナルトのオカンや。

そういえば、俺の誕生日は7月23日でナルトの誕生日は10月10日やったっけ？ってことは、友は^{ダチ}まだ転生できてない上に、九尾事件はまだ起きとらんって訳やな。

まあ、その内ナルトとも接触できるやろうから、それまで気長に修行でもしよかな。って訳で、こっからナルトに会うまでの間に起こった出来事を少しダイジェストで送るわ。

まず、生後1カ月の俺。うちは邸にやってきてから？チャクラ？の制御を開始しとったことで、壁上りの業が可能なレベルに到達。

更にその恩恵で簡単な肉体活性を修得。一般的な乳児からは考えられん速度で首が据わり、ハイハイが可能となった。

そして、ハイハイで壁上りの業をしてる所を家族に見られ、特にオトンにイタチ兄を超える天才やと騒がれた。

で、オトンがうちは一族の族長であることから、うちの家の大広間では木ノ葉警務部隊の隊員との総会が行われることがあるらしく、部隊員に紹介された。

「丁度いい機会だ。紹介しておこう。こいつが俺のもう1人の倅のサスケだ」

「ほお…、フガク殿の第二子ですか。見た所、首が据わってる様ですが生まれたのはいつ頃で？」

「うむ、丁度1カ月といった処か」

「なんと!？」

「首が据わってるだけでは無いぞ。既にハイハイもでき、壁上りの業もできるのだ」

「ハイハイに壁上りの業、ですと!」

「1カ月で、もう?」

「なんと早熟な!」

いや、息子自慢とか本人からしたら恥ずいから止めてくれ。ってか、いい大人が“見たい、見たい”って言うな!

そんなことを思っていると、オトンが俺を畳の上に腹這いにさせた。
おいしい、まさかハイハイさせる気かい……。

「サスケ。昨日のアレ、できるか？ん？」

どんぴしゃですか、そうですか。普通の赤ん坊の場合、これは無茶振り以外の何もんでもないぞ？そんなことを思ってたなら、ケツをポンポン叩かれた。

「どうした、サスケ。昨日のやつだぞ、ほら」

赤子を急かすな。ってか、ケツをポンポン叩くな、クソ親父。俺はケツを叩かれたことでイライラし、オトンへの報復も兼ねて、ハイハイを始める。

そして、オトンからある程度距離を取った所で向き直った。そして、全身に？チャクラ？を纏わせて強化し、足裏の？チャクラ？を弾かせて、オトンの鳩尾に向かって突撃した。

簡単にいうなら、某脱色死神漫画に登場した破面幼女の『アランカル超加速』やな。鳩尾に直撃を喰らったオトンは“ぐふおっ！？”とか言いながら倒れた。

「……こ、これは凄い！」

「今のは？チャクラ？を使った肉体活性ですか？」

「生後1カ月でこの才覚…、末恐ろしいとは正にこのこと」

「この子はうちは一族の誰よりもその才に愛されておりますな。神童とはこの子の為にある様なものだ」

「お前ら、現実逃避は止めろ！フガク殿が白目剥いて泡を吹いてる！！」

「フガク様！お気を確かに！！」

「おい！隊長の脈がどんどん弱まってるぞ！！」

「い、息も止まってる」

結論を述べるなら、オトンは生きてた。ってか、三途の川を渡りかけたらしいが、冷静派による心肺蘇生で持ち直したらしい。ちっ！そのままくたばってれば良かったのに……。

ちなみに俺の使った肉体活性は雷の『性質変化』も帯びてたらしく、雲隠れの雷影の血族が使う肉体活性と同質であることが数年後に判明したりする。

……生後2カ月ちよつとの俺。九尾事件が発生し、イタチ兄に抱っこされて避難所に避難した位しか報告することないな。

強いて俺自身の感想を述べるなら、こんな日にオトンとオカンは2人してどこに行ってたねん、って追求したいこと位か？

……生後半年の俺。両足で立ち上がる。ハイハイした時の如く、オトンがかなりハイテンションになった。まるで“クララが立った”みたいな感じで“サスケが立った！！”と叫びよった。

そして、ハイハイの時と同じで会合の場で立ちを強要された。ま、会合出席者の反応はハイハイの時と同じ感じやな。

で、めっちゃ恥ずい思いをさせられた俺は、ハイハイの時同様に肉体活性でオトンの鳩尾に向かって『超加速』をかまし、三途の川へと送った。ま、オトンは戻って来たねんけどな。

……1歳の俺。舌っ足らずの割に良く喋るようになり、？チャクラ？の制御を8割方マスターし、？死ぬ気の炎？の制御訓練を開始した。

……2歳の俺。？チャクラ？の制御を完全にマスター&術の訓練を開始。けど、？死ぬ気の炎？の制御は完全には無理やった。額に？炎？を灯すことはできても、道具に灯すことができません。

どうやらリングが必要な様や。どうにかリングを手に入れるか、作する方法を見つけないアカン。

取り敢えず、手当たり次第に宝石の原石に当たる無機物結晶鉱物に？死ぬ気の炎？を流し込んで反応を確認することが日課になった。

ああ。ちなみに、この時に初めて『写輪眼』を使ったりもした。ちゃんと『白眼』の能力も付いていて、経絡系を見ることができ、透視もできる。勿論、任意で能力のオンオフが可能。

補足、『写輪眼』を使ってる所をオトンとオカン、イタチ兄に見られた。その結果、歴代うちでは一番の天才だと言われた挙句、名実共にうちは一族で神童と呼ばれる様になった。

……3歳の俺。旧家の集いについて行くことになって、旧家の原作キャラ達と遭遇することになった。そして、この時にナルトに転生したであろう友^{ダチ}より先にヒナタと接触することになった。

そういえば、俺が3歳ってことはヒナタも3歳ってことになる。ってことは、ヒナタ誘拐事件が発生する年ってことになんねんよな。

なんかかんやで、俺はヒナタの遊び相手を務めることになった。同じ瞳術系の『血継限界』やからか? ……取り敢えず、公園にでも行くことにしよう。

公園に行くと、ガキが大量にいる上、騒いでいて五月蠅かった。五月蠅いのは嫌いなので、五月蠅いのが少なくなるまで静かな木陰で暇を潰すことにした。

木陰に腰を下ろして、持ってきていた忍術書を読んどると、真上から靴が落ちて来て、頭に直撃した。

何や? と思い、顔を上げると、そこにはアホ面で涎を垂らしながら、太い枝に跨り、幹に身体を預けてる金髪のラーメンの具材がおった。

そのアホ面にイラッときた俺は近くにあった拳大の石を手に取り、友が転生・憑依してそうなラーメンの具材に向かって全力投球した。
った。

その結果、石は見事に命中。バランスを崩したラーメンの具材は地面に向かって落下し、頭を強打した。一瞬、死んだかとも思ったが、俺の考えは杞憂やったようや。

「いってー! 誰だよ、一体!?!?」

流石は九尾の人柱力。この程度ではビクともしないみたいや。

「アホ面のラーメン具材に鉄槌を加えたうちはサスケやけど、何か文句あるんか？」

「!!!? お前……」

おー。吃驚しとるな。

「おう。久し振りやな、ナルト」

「……ああ。久し振り、サスケ」

偶然とはいえ、ナルトと接触できた。正に怪我の功名。そして、ナルトとヒナタを接触させることもできた。

生前の友はヒナタ——特に疾風伝のヒナタが好きやったからな。
取り敢えず、ナルトがヒナタの新しい友達となった。

その後、3人で蹴鞠なんかの子供の遊びをして、周りが暗くなり始めると俺とナルトでヒナタを家まで送った。

そして、俺の家に着くまでの間に俺とナルトはこれまでやってきた修行の内容を話した。ナルトはこの3年間で『虚化』の制御と九尾の調k y——飼慣らしをしとったらしい。

で、色々と話していて俺はこいつが『ゲート・オブ・バビロン王の財宝』を持つとることを思い出した。

試しにリボーンの世界のリングを持つとるか聞いてみたら、原型のボンゴレリングを持つとることが判明。

譲って貰える様に頼んでみると、本人も“まあ、俺が持っても宝の持ち腐れだからな”と、快く譲ってくれた。やっぱり持つべきものは親友やな。

リングを手に入れたこの日から夜に本格的な？死ぬ気の炎？の訓練と忍術の修得を始めることとなった。

……ナルトとの再会から2ヵ月。雲隠れの里との間で同盟条約が結ばれた。近々、ヒナタ誘拐未遂事件が発生する筈やから、警戒せなアカンな。

雲との同盟から数日後。雲隠れの忍頭がやって来た。どうやら今日が誘拐未遂事件の日のようなや。

俺とナルトは昼間はヒナタと遊ぶことで周辺を警戒し、夜は日向宗家の邸宅を交代で警護しつつ、雲が動いたら『口寄せの術』でいない方を呼び出すことになった。

そして、屋敷の周辺を『写輪眼』で警戒しとったら、雲の忍頭が本当に来よった。ここで捕まえてもええねんけど、それやとシラを切られる可能性がある。

この場合、木ノ葉に有利な条約を追加させる為にも、ヒナタが誘拐された後に生け捕りした方がええ。その方が火影の爺さんに貸しを作ることができるしな。

そういうことで、俺はヒナタを攫うまで雲の忍頭を黙認した。そして、忍頭がヒナタを抱えて出て来たのを確認すると、『口寄せの術』でナルトを呼び出した。

「ナルト。目標は北に向かっとなる」

俺がナルトに負ぶさりながらそう言うとなルトは頷き、『響転』^{ソニード}を使ってその場から移動した。

ナルトは『虚化』の制御訓練をしている内に『響転』^{ソニード}を使える様になったらしい。勿論、『虚閃』^{セロ}とかも使える様や。

こうして簡単に先回りした俺らは、忍頭がやって来るのを待った。そして――――

「!?!?何者だ!?!?」

忍頭がやって来た。しかも、俺らに気付いて叫んだ。極秘任務やねんから、大声とか出すなや。

「……何だ、ガキか。悪いが、見られた以上死んでもらう」

忍頭はヒナタを抱えたまま忍刀を手にして襲い掛かって来た。まあ、『響転』^{ソニード}を使えるナルトには激遅の攻撃やろうし、『写輪眼』を使

える俺にとっても激遅の攻撃や。正に“スロー過ぎて欠伸が出るぜ”状態やな。

襲い掛かってくる忍頭に対してナルトはフィンガースナップで音を鳴らす。すると、その場の何カ所かの空間が歪み、その歪みから鎖が射出され、忍頭は鎖で雁字搦にされた。

この時、忍頭はヒナタを手放してもうて、頭から地面に落下しよったから、俺は一瞬焦ったけど、ナルトが姫抱っこでキャッチした為、大事には至らんかった。

ちなみに、忍頭を雁字搦めにしとる鎖は『天の鎖』^{エルキドゥ}やな。必死に抜け出そうとしとるわ。まあ、そんなことさせる訳がないねんけどな。
(笑)

「堕ちろ…。そして、巡れ」

『写輪眼』によって幻術を掛けた。忍頭をあっさりと気絶し、失禁した上に泡を吹いとる。これで本当に忍頭なんか？

そんなことを考えながら、ナルトに『天の鎖』^{エルキドゥ}を解除して貰って、忍頭を縄でふん縛った。

忍頭を縛り終えた頃合いにヒアシのおっさんが現れ、事情を説明。なんやかんやで、俺とナルトは日向の屋敷に行くこととなり、火影の爺さんに説明することになった。

そして、雲の忍頭を生け捕りにした褒賞として、一度だけできる範

囲内での願いを叶えて貰えることとなった。

俺は白と多由也、アマルを嫁にする為に旅に出る予定なので、その時に使おうと思う。ナルトは恐らく、ヒナタとの婚約なんかに使おうんやろうな。

その後、3歳の俺に起こった出来事と言えば、ナルトに霊光波動拳の『呪霊錠』を付けて貰った位か。チャクラ総量を底上げすんで！！

ってか、ナルトの奴は九尾を手懐けとる癖に2年前から『呪霊錠』を付けてチャクラ総量を上げているらしい。

「おい、ナルト！ハンデとして今から2年間は『呪霊錠』を解除しとけ！！」

「だが、断る！！」

何！？露伴節やと！！？

「このうずまきナルトが最も好きなことの1つは“Y e s”と答えると思っている奴に“N O”と断ってやることだ！！」

「くっ！確かに岸辺露伴は俺らの正義……ジャステイス。けど、お前に使われるとめっちゃムカつく！！」

こんなアホな会話があったことを伝えようか。

……4歳の俺。取り敢えず、？死ぬ気の炎？を武器に灯す訓練をし

てみた。あと、ナルトから匣兵器と『Xグローブ』、変形刀『時雨金時』、『死ぬ気丸』とかを貰った。

……5歳の俺。ナルトから誕生日プレゼントに神剣『龍神剣』を貰った。代わりと言っては何やけど、ヒナタとのフラグを立て易い様に2人つきりになれる様に気を利かせる様に頑張ったつもりや。

他にはヒナタに妹が生まれた。ハナビだ。そして、何でか分からないが俺に妹が生まれた。名前はミカゲとなった。

まあ、理由はオトンとオカンが励んだからやろうけど、何でそうなったか分からなかった。取り敢えず、俺の日課に妹の世話が加わった。

あと、うちは一族内でキナ臭い動きが起り始めた。木ノ葉に対するクーデターの準備やろう。

……6歳の俺。アカデミー忍者学校に入学前日。イタチ兄と手裏剣術の修行をした。この時、イタチ兄は既に中忍で、俺は俺で『火遁』系の忍術で上忍級のもいくつか修得しとったりする。

修行を終えると2人で帰路についた。その途中、木ノ葉警務部隊の本部の前を通った。

「なあ、イタチ兄」

「何だ、サスケ？」

「ここやろ？オトンが働いとる所って……」

「ああ。木ノ葉警務部隊の本部だ」

「どうでもええねんけど、何で警務部隊にうちの一族の家紋が付い

とん？正直言って、自己主張しとるみたいでメツチャ恥ずいねんけど？」

「……………」

俺が正直な感想を言うと、イタチ兄は冷や汗を掻きながら呆然としようった。俺、何かおかしいこと言うたか？

「ま…。まあ、そう言うな。うちは一族は先代達の時代からこの里の治安を預かり守って来たから、組織のシンボルに家紋を付けたんだよ」

「でも、それって所詮は過去の栄光ってもんやろ？今。木ノ葉の治安を守っとんは別にうちは一族だけちゃうやん。

過去の栄光にしがみ付いて、今を見んような一族に未来なんてあるとは思えんわ。取り敢えず、ここには絶対就職したないな。やっぱ、平々凡々な忍者…。できれば、上忍が一番や」

俺はイタチ兄のフォローをバツサリとぶった切ると、興味が失せたから警務部隊の本部から視線を外し、再び帰路についた。

イタチ兄は何か知らんけど、警務部隊の前で足を止めとったみたいで、我に返った後、急いで俺の隣に走って来た。

うちは一族が住んでいる区画まで着くと、門の所にオトンがおった。

「遅かったな…。何をしていた？今から話がある。早く帰るぞ」

オトン……。せめて、俺とイタチ兄のどっちに言うとするんか主語を付けてくれ。

「……はい」

イタチ兄が答えたってことは、イタチ兄に言うと思ったんやな。で、家に着くと何でか俺も一緒にオトンの部屋に行くことになった。

「フフ…、さすがオレの子だ…。中忍に昇格してから、たった半年でここまで来た」

「……………」

いやいやいや。それって、オトンの子とか関係ないやろ。思いつきり、イタチ兄の才能と努力の結果やん。何、“オレのお陰”的発言しとんや、この人。イタチ兄も呆れとるやん。

「明日の特別任務だが…、オレもついて行くことにした」
「！」

オトンって痴呆なんか？明日って、俺の入学式やん。イタチ兄の呆れも更に上昇したっばいな。まあ、別にいいけど。

「この任務が成功すれば、イタチ…。お前の暗部への入隊がほぼ内定する」

「……………」

何でそこでプレッシャー与える様なこと言うんやろ？

「分かってるな…？」

「……………」

おいおい。『写輪眼』使うとか、殆ど恐喝やん。

「……………そんなに心配しなくても大丈夫ですよ。それより……………」

いやいや。イタチ兄、オトンのは心配やのうて脅迫やから。ってか、イタチ兄って何気に天然？あと、何故に俺の方を見るんや？

「明日の任務はうちは一族にとっても大事な任務となる！」

いや。イタチ兄が明らかに俺の方見とんのに、オトンは何故に何も無い様に話を続ける？俺は空気か？空気なんか？

「…………オレ、やっぱり明日の任務やめるよ」

「!?!? 何言うてるんや、イタチ兄!?!? つか、俺の方を見た後にそういうことを言うんは止めてくれ! 明らかに俺が原因になるやん!?!」

「!?!? 何を血迷ったことを言ってる!?!? 明日がどれ程大事な日か、お前にも分かっているはずだ! 一体、何だと言うんだ!?!?」

うお! オトンがすごい剣幕になった!?!?

「明日はサスケの忍者学校の入学式についてくよ」

イタチ兄!?!? 止めてくれ!?!? そんなこと言うたら、俺のせいになるやんけ!?!? こんな時まで天然は勘弁してくれ!?!?

「忍者学校の入学式には身内が参列するのが通例。通達もあったでしよ………、父上」

イタチ兄の気持ちは嬉しいけど、オトンは別に来んでもいいわ。寧ろ、嫌いやから!?!? ってな訳で、ここは割り込ませてもらおう。

「別にええよ、イタチ兄。俺のことはええから、任務に行ってきたや。あと、俺の入学式のことを忘れて、イタチ兄に『写輪眼』を使

って脅す様にプレッシャーを与える様な薄情なオトンも来んでええで。

代わりにオカンに来てもらうから。色々濃いやオトンより、美人のオカンが来た方が断然ええし。ってか、俺オトンのこと嫌いやし」

俺が思っていたことを全部口にする、オトンとイタチ兄は顔を真っ青にしながらかわて始めた。

「さ、サスケ。別にお前の入学式を忘れてたわけじゃないんだ。ただ――」

「分かっとなるって…。俺の入学式より任務の方が優先なんやろ？ オトンのこと、忍として尊敬するわ。まあ、父親としては軽蔑するけどな。それ以前に嫌いやけどな。」

取り敢えず、2人で仲良く任務に行っていくや。入学式の件は俺からオカンに言うところから。んじゃ、そういうことで俺は部屋に戻るな」

俺はそう言い終わると、オトンとイタチ兄を置いて自分の部屋へと戻って行った。部屋に戻る際中、“誤解だ、サスケー！！”というオトンの叫び声が聞こえたと思うけど、気のせいやと思う。

あと、さっきの会話では重要なことなんでオトンのことを“嫌い”って2回言っというた。オトンはそれに気付いたかな？

……入学式当日。入学式に来てくれたのはオカンやった。ま、実の息子に2回も直接嫌いって言われて来とったら、ある意味感心するけどな。

ちなみに入学式だけなので授業はない。ってな訳で、入学式とクラス分けが終了した後、ナルトと2人で訓練をする予定や。

そして、俺はナルトと演習場で訓練を始める。今日は転生して初めて『魔眼』を使う。ナルトもそうみたいや。

「取り敢えず、初使用やから木とか岩に向かって使おうか？」
「そうだな」

そう言い終えると俺らは互いに近くにある木や岩の方を向いて、眼に力を集中させた。すると、何でか俺の視界に映る岩に黒い線や点が現れた。

何や、これ？　そう思う間もなく両眼に激痛が走り、俺は思わずジブリの名台詞を叫んだ。

「め、眼が！　メガァー！！！！」

マジで何やねん、これ！！　そんなことを思いながら眼を押さえとると、ナルトの居る方からも叫び声が聞こえてきた。

「ギャァー！！　う、腕が！！　腕がもげるー！！！！」

腕がもげるって、何が起こってんねん！ってか、俺らの身に何が起こってんねん！！

第一話（後書き）

という訳で改訂版・第1話でした。

サスケの異常な成長スピードを第三者の視点（感想？）を加えることで際立たせるという趣向を凝らしてみました。（笑）

あとは特に挙げる点は無いです。という訳で、アンケートに突入！！

登場は3話からなんですが、生存予定である白の母親（雪 氷華）の容姿についてです。

SA☆SU☆KEでは白を大人の女性っぽくした感じの人という設定にしてたんですが、それでは余りにもつまらない様に思うので、容姿を変更しようと思います。

で、その容姿についていくつかの候補があるので、どれか選んで貰いたいのです。

という訳で、以下の候補から1点お選び下さい。

？白とぬらりひよんの孫に登場する雪女・雪麗せつらを足して割った感じの容姿（黒髪・黒眼）

？ゲゲゲの鬼太郎（2007～08シリーズ）に登場する雪女の容姿（黒髪・黒眼）

？幽遊白書に登場する氷女・雪菜の容姿（黒眼・黒髪）

？幽遊白書に登場する氷女・泪^{るい}（飛影を氷河の国から捨てた人）の容姿（黒眼・黒髪）

どれがいいでしょう？

あと、氷華さんをイタチの初恋の女性という設定を組み込もうとも思ってるんですがいかがでしょうか？

（イタチが木ノ葉に正式に帰還した際に初対面。一児の母とも思わず惚れるが、白の母親と知って自重。

異世界編の際、氷華はうちは家を護る為に木ノ葉に残る、って考えてるんですが……）

御意見等をお待ちしております。

第二話（前書き）

どうも、エミリアです。

今回は加筆らしい加筆も殆ど無いです。

ちょこちょこつとはしていますが、気付かない人が多いと思います。

そして、今回もあとがきにアンケートがあります。（割と重要な）

協力して頂けると幸いです。

追伸

前話（第一話）あとがきのアンケートを見てない人は、良かったら見て下さい。そして、協力して頂けると嬉しいです。

（理由…アンケート票数が3つ拮抗してるから。誰か、この拮抗状態を崩して!!）

第二話

えー、『魔眼』を使ったら目に激痛が走ったうちはサスケや。取り
敢えず、俺らは互いに眼と腕の痛みが引いた所で状況確認を行った。

こん時、俺の顔に血涙の跡があった様でナルトにドン引きされた。

『魔眼』使った時に激痛が走ったから、その影響かも知れん。

ちなみにどん位引かれたかというと、バカテスの木下優子が弟・秀
吉と入れ替わってFクラスに訪れた際に、誰かが処刑されようとし
たのを見た時と同じ位の引かれようや。

で、状況確認の結果、俺らが要求した『魔眼』が逆転していること
が判明。しかも、使用時にリスクが発生すると言うおまけ付き。こ
れが判明した時の俺らの反応は――――

「あんのクソ神がー！ー！！！」

「今度会ったら、確実に殺す！！！」

愚痴を言い続けていても状況が改善される訳でもない為、俺らは互
いのリスクについて話すことになった。

俺の方は『直死の魔眼』を使った時、目に激痛が走ることがリスク

の様や。しかも、血涙が出る。

イメージ的には、『万華鏡写輪眼』を使った原作のイタチ兄やサスケみたいな感じやろう。

まあ、一般的な『万華鏡写輪眼』と違って血涙が出る程の痛みはあっても、視力が低下する様なことはなさそうや。

ナルトの方は『歪曲の魔眼』を使った時、腕に激痛が走るらしい。ってか、ぶっちゃければ鋼の錬金術師のエドが人体錬成をして、リバウンドで腕を持って行かれた位の激痛らしい。

もしかして、金髪繋がりでそんなリスクになったんか？……まあ、んなことより……。これから『魔眼』の使用は痛みで廃人にならない程度に適度に使っていくことにしようって話になった。

使っていったら、その内痛み慣れて使えるようになる可能性があるやろうからな。できれば、使用は控えたいけど……。

こんな感じで今後の『魔眼』のことについても決まった所で解散することとなった。流星にあの激痛を今日の内にもう1回受ける気にはなれんからな。

そして、次の日から俺とナルトの激痛に耐え、『魔眼』の持続時間を延ばす訓練が始まった。一体どこの『虚化』持続訓練やねんとか言う突っ込みは止めてや。

ナルトも“んな生易しいもんじゃない”と言うやろうからな。ちなみに俺は『錬金術』と『錬丹術』の訓練も開始した。

ナルトに指摘されるまで『鍊金術』と『鍊丹術』を使えることをすっかり忘れてたんで、『魔眼』の訓練と同時進行することになった。

数か月後。^{アカデミー}忍者学校の上期も終了し、長期休暇に入った。ちなみに忍者学校での成績は全部1位。ってか、上期だけで卒業までに必要なカリキュラムの8割を修了した。

取り敢えず、長期休暇に入ったこともあって、妹のミカゲに全力で構うことを心掛けた。どうやら、俺はシスコンの様や。前世では男3人兄弟の末っ子やったから気付かんかったけど……。

まあ、オトンとオカンが木ノ葉に対してクーデターを起こそうとアホな準備をしとるせいで、必然的に俺が世話せなアカンようになってたってのもあるけど。

その結果、ミカゲを溺愛する様になってもうた。寝る時も、俺の部屋にミカゲのベビーベッドがある位や。

で、この日の夜。ミカゲを寝付かせて俺も寝とったら、口論みたいなもんが聞こえ始めた。

「何だと？明日がどんな日か、お前も知っているだろう!!」

オトンの怒鳴り声や。その怒鳴り声で吃驚したんか、ミカゲがぐずり始めた。俺はすぐにベッドから飛び出して、ミカゲをあやし始めるが、一向に落ち着く気配がない。

俺は仕方なく、幻術『涅槃精舎の術』を使ってミカゲを強制的に眠

りにつかせてから、オトンの部屋へと向かった。

「お前は自分の立場を分かっていない…！」

オトンの部屋に行くと、夜中であるにも拘らず明かりも点けずにオトンとオカン、そしてイタチ兄が話をしとった。

「俺は明日、任務に就く」

「……何の任務だ!？」

いや、忍——特に暗部やねんから近親者であろうと任務の内容を言えるわけないやろ。そんな位は理解しようや、オトン。

「それは言えない…。極秘任務だ」

イタチ兄の対応は正解やと思うで。

「…………イタチ、お前は一族と里の中枢を繋ぐパイプ役でもあるのだ…。それは…、分かってるな？」

「ああ…………」

「…………それをよく肝に銘じておけ。そして、明日の会合には来い」

オトン、それって任務を放棄せいってことか？それはマズないか？
08小隊のノリスさんとか“基地の放棄…、軍人としては無能の証明だな”とか言ってたし……。任務放棄は忍としては無能の証明ちゃうか？

「……………サスケ。トイレに行ったら早く寝ろよ」

「！！」

俺がオトンの駄目さ加減に脳内で突っ込みをいれとったら、イタチ兄が話し掛けてきた。俺の存在に気付いてなかったオトンとオカンは驚いとした。

「別にトイレやないよ」

俺はそう言いながらオトンの部屋の障子を開けた。

「こんな夜中に何をウロウロしてる。さっさと寝ろ！」

オトンの怒鳴り声で起こされたのに理不尽にキレられたことで、俺の堪忍袋の緒も切れた。

「何、言うтонねん。元はと言えば、オトンの怒鳴り声で起きたんやろうが。それやのに、なんで逆ギレされなアカンねん」

「何!？」

「オトンの怒鳴り声で折角寝かしつけたミカゲが起きて、ぐずり出したんやぞ。あやそうにも一向に落ち着かんから、仕方なく幻術使う羽目になったわ。」

それに、こちらら6歳児やぞ!明日も朝から修行する予定なのに、人の安眠妨害しといて逆ギレか!?!一体何様のつもりじゃ!?!?」

マジギレしてるので、ドスの利いた口調で言葉を口にする俺に若干引いているオトンとオカン。あとイタチ兄。

「人に聞かれたない話やったら、小声か防音結界でも張ってからしろ。このカスが!!」

俺はそう捨て台詞を吐くと、障子を思いっきり閉めて、自分の部屋へと戻った。そして、翌日の朝。ミカゲに使った幻術を忘れずに解いた。

で、いつも通り朝食を家族で食うことになったねんけど、その時に非常に気まずい空気が流れた。多分、俺が昨日オトンらにマジギレしたせいやろう。

俺のマジギレから2日目の夕方。ミカゲは昼寝中。俺は縁側でイタチ兄と一緒に日向ぼっこしながら茶を啜っとる。

俺は修行を午前中で切り上げ、イタチ兄も任務が無い。久し振りに2人で穏やかに過ごす時間や。俺は丁度ええと思って湯呑を自分の横に置いて話を切り出した。

「なあ、イタチ兄」

「ん？何だ、サスケ？」

「俺のこと、疎ましく思ったこと無い？」

「！！？」

「俺、2歳の時に『写輪眼』を開眼したやろ？そのせいで何かとイタチ兄に肩身の狭い思いさせとんちゃうかと思って……」

俺が今までイタチ兄に感じ取った罪悪感を吐露する。すると、少しの間沈黙しとったイタチ兄が口を開いた。

「…………そんなことある訳ないだろ。それに、俺とお前は兄弟だ。本来なら俺はお前に恨まれることがあったとしても、お前の超えるべき壁としてお前と在り続ける存在だ。

それなのに逆にお前のことを疎ましく思うなんて……、そんなことある筈がないだろ？」

イタチ兄はそう言いながら人差し指と中指で俺の額を小突いてきた。そのやり取りに俺が笑うと、イタチ兄も笑った。

そんな感じで俺とイタチ兄が笑いあいながら兄弟の絆を深めると、空気を読めん邪魔者が複数名やって来た。

「イタチはいるか！出て来い！話がある！！」

声が聞こえてきたのは玄関の方や。イタチ兄は縁側から立ち上がる
と、玄関へと向かった。俺もイタチ兄について行く。すると、玄関
には警務部隊の第一分隊に所属しとる人らが3人おった。

「…何です？みなさん、お揃いで」

「昨日の会合に来なかった奴が2人いる…。お前は何故来なかった
!？」

何言ってるんや、この人？イタチ兄には表向きでは任務があったこ
とになってんねんから、行ける訳ないやろ。それとも任務そっちの
けで会合に出席せえって言うんか。

「暗部に入り、色々と面倒事に駆り出されるのは分かる。お前の父
上もそう言い、何かと庇っているが…」

「しかし、我々としてはお前を特別扱いする気はない」

「……分かりました。以後、気を付けましょう。そろそろ、お引き
取りを…」

「…そうだな。だが、その前にもう少しだけ訊きたいことがあって
な…」

「……………」

「昨夜、南賀ノ川に身投げして自殺したうちはシスイについてだ」
「……………!」

あつ！そう言えば原作でそんな話あったな。ついにイタチ兄も『万
華鏡写輪眼』を手に入れたんやな。

んじゃ、イタチ兄が里抜けした後に『万華鏡写輪眼』による視力低下を治す研究せなアカンな。

あと、うちは一族虐殺をどうにかクーデター派の粛正程度で抑える様にせなアカン。クーデターのことを知らん子供まで死ぬ必要はないしな。

俺がそんなことを考えとる内に話が終わったみたいで、警務部隊のオッサンらは帰って行きよる。しかも、捨て台詞を吐きながら。

「手掛かりが出てくるといいがな…」

「それと警務部隊オレたちにも暗部には別ルートだってある。握り潰したりすれば、すぐに分かるぞ」

最期の捨て台詞にキレた俺はイタチ兄が口を開く前に『写輪眼』を発動させて口を開いた。

「もっと直接的に言ったらどないや」

俺の言葉にオッサンらは足を止め、『写輪眼』を発動させた状態で振り向いてきた。

「イタチ兄のことを疑っとるって訳か？」

「ああ…、そうだ」

「いいか、イタチ…。一族を裏切るような真似をしてみろ…。タダじゃ済ませねーぞ」

その言葉を聞いた瞬間、俺はおっさんらを外まで殴り飛ばして、俺も外に移動した。

「あんたらに忠告したるわ。見た目や思い込みで人を判断すんな。俺やイタチ兄の気が長いって勝手に判断して、安易な行動を取るから俺みたいなガキにのされんねん。」

「…それに一族、一族…。んなもんに執着して何の価値があんねん。そんな下らんもんに執着するから、あんたらは己の器の大きさを測り違えるんや。」

で、俺やイタチ兄の器の深さを知ろうとせんから、無様にも這い蹲ることになる」

「シスイは…。最近のイタチを監視していた…。暗部に入って半年…。最近のイタチの言動のおかしさには目に余るものがある」

「あんたらは一族や組織、名、過去の栄光に執着して己を制約して己の器を決めつけとる。それは最も忌むべき行為や!!」

「止めろ! サスケ!!」

俺は少し驚きながらもそれを表に出さず、声の聞こえた方に視線を向けた。すると、そこにはオトンがおった。

「いい加減にしろ…。どうしたというのだ、一体…。サスケ…。お前、最近少し変だぞ」

「……何もおかしいことなんてあらへん。自分の役割を果たしとる

…。ただ、それだけや」

「自分の役割？ 何だ、それは？」

「……言う必要があるとは思えんけど、……高みに近付く為や」

「……………？ 何の話だ…」

オトンがそう言うのと、俺は苦無を取り出して壁に描かれてるうちの家の紋に投げ付け、突き刺した。それを見たオトンは苦無の刺さった壁を見た後、俺の方を睨んで来た。

「俺の——いや、俺とイタチ兄の器はこの下らん一族に絶望してる。一族なんてちっぽけなモンに執着するあまり、大切なモンを見失う……。

変化を恐れ、現在と未来から目を背け、過去の栄光に縋る。なんて浅ましくも愚かしいことや……」

「何も知らん子供が傲慢なことを……！ もういい！ それ以上、下らぬ戯言を言うなら牢につなぐ」

「フッ……。あんたら程度の実力でそんなことができると思っ
とんのか？」

「何！ ！？」

「俺が本気になったら、3時間もあればうちは一族の虐殺かて余裕なんやぞ！ ！」

俺はドスの利いた声でそう叫ぶと同時に、現時点で使える？ チャクラ？ を解放した。

ちなみに、3年間も『呪霊錠』を付けて修行していた為、『呪霊錠』を付けた状態でも伝説の三忍と同等のチャクラ量を有する様になっ

てたりする。

俺の強大なチャクラに中^あてられて、オトンを含む警務部隊の全員が顔を蒼白にしながら冷や汗を掻いとる。

「どうしたんや？俺を牢につなぐんやなかったんか？」

俺の質問に誰も答えられなかった。そして、俺は目の前で膝をついとる阿呆供に死刑宣告を行った。

「そっちから来んのやったら。こっちから行つたるわ」

そう言うと同時に両手に4本の苦無を持って、オトンらに向かって投げようとした。その瞬間――

「サスケ！もう止めろ！」

イタチ兄の待ったが入った。イタチ兄の方を見ると、イタチ兄は外に出て来とった。そして、オトンらに向かって土下座をした。

「！！？イタチ兄、何しとんねん！！！」

「サスケ、黙ってる。………シスイを殺したのはオレじゃない。サスケの数々の失言に関しても、兄の俺が謝罪します……。申し訳あ

りませんでした」

俺の意識がイタチ兄の方に向かったことでオトンらはチャクラの威圧による硬直が解けたみたいで、立ち上がとった。そして、土下座したイタチ兄を見ながらオトンが口を開いた。

「…最近、イタチは暗部での任務で忙殺され、サスケもミカゲの世話を任せきりにしていたからな。疲れていたようだ……」

俺はイタチ兄の姿を見とれんくて、また土下座させてもうたことに対する罪悪感に耐えられんくて、その場から逃げた。

当然と言えば当然やけど、その日の内に家には帰って、イタチ兄に謝った。そして、オトンとの溝は深まった。

こっからまたダイジェストに話を進める。俺の暴走から2ヵ月後、7歳になった俺は火影の爺さんとイタチ兄が内密の話を行ってる場に乱入した。

そして、イタチ兄が里の上層部からうちは一族が不穏分子となりえる場合、虐殺する様に命じられていることを知っていることを告げた。

火影の爺さんとイタチ兄はそのことを知ってる俺に凄く困惑しとったけど、俺はそんな2人を無視して提案を持ち掛けた。

クーデターを起こそうとしている者の抹殺は許容できるが、関係な

い者まで殺す必要はないので生かして欲しい、って提案や。

火影の爺さんは渋ったけど、対価として俺が成人した暁には、
うちは一族を俺が管理・監視するということで決着がついた。

イタチ兄は里抜けを辞める気がないみたいなんで、原作通りにダン
ゾウを脅す様をお願いした。

あつ！あと、日向の件で火影の爺さんには貸しがあったので、その
貸しを返して貰う為にある提案もした。

今から4年間、里の外に旅に出る許可や。このことに関しても火影
の爺さんは渋ってたけど、最終的には了解してくれた。

俺は2人と話を終えた後、その場を去ってナルトの家に向かった。
で、ナルトに会った俺はうちは一族のクーデター派の虐殺が起こっ
た後、妹のミカゲを保護して欲しいと土下座した。

現在のナルトは日向家の後ろ盾もあるんで、いざとなれば日向家が
ナルトと一緒にミカゲを保護してくれるって思ったからや。ナルト
は土下座をした俺の心を汲んでくれ、快く承諾してくれた。

ナルトは最後に旅に出る餞別として烈火の炎に登場する魔導具を6
つもくれた。『鋼金暗器』、『嘴王』、『帝釈廻天』、『魅虚斗』、
『白髭』、『大飛』の6つや。

俺はそれらを以前貰った収納用の匣兵器ボックスに収め、ナルトの家から去
った。そして、俺は一旦家に戻ると置手紙を残し、荷物をまとめて
里を去った。

第二話（後書き）

という訳で、第2話でした。

次はお待ちかねの第3話！結構、大々的に加筆修正する予定です。

修正点その？…白の母、生存

（生存理由はSA☆SU☆KEと同じ+サスケが水の国を旅してる最中に忍に襲われてる所を救出し、接触）

修正点その？…3話で断刀『首斬り包丁』を蒐集

（再不斬に襲われた際に『表蓮華』でリアル犬神家にした後、強奪。波の国編で再不斬を再登場させる際には鈍刀『兜割』を所有させる予定）

ま、今の所はこの位ですかね？他に修正点を2つ程考えてますが、それを今回のアンケートとしたいと思います。

修正点アンケートその？

水の国に行った際に、他の霧の忍刀（長刀『縫い針』 or 爆刀『飛沫』）をもう1本蒐集。可 or 不可

（修正理由は第四次忍界大戦時にカカシ隊とぶつかるエドテン組の戦力ダウンを狙う為）

修正点アンケートその？

水の国に行った際、ウタカタとその師匠に接触。『尾獣』の制御法（憎しみの克服e t c）を教えておく。可o r不可
（修正理由はサスケ、ナルト、ビー以外の完成形人柱力を増やす為。これによりマダラ（偽）の手に渡る『尾獣』を減らせる上、第四次忍界大戦時のエドテン組人柱力を減らし、忍連合側の戦力向上）

修正点アンケートその？

砂隠れの里に行った際、四代目風影と我愛羅に接触。『尾獣』の制御法（憎しみの克服&他者との繋がりe t c）を教えておく。可o r不可

（修正理由はウタカタの時と同様。サスケ、ナルト、ビー以外の完成形人柱力を増やす為。これによりマダラ（偽）の手に渡る『尾獣』を減らせる上、第四次忍界大戦時の忍連合側の戦力向上。

ただし、木ノ葉崩しは発生。四代目風影は大蛇丸に謀殺され、風影に成り変った大蛇丸によって木ノ葉崩しが発生。

ちなみにこの場合、我愛羅の性格は疾風伝v e r化。更に木ノ葉崩しも父の命令で嫌々やってる感じになる）

ぶっちゃけ、どれもこれもマダラ側の戦力を削ぐアンケートばかりですね。

取り敢えず、3話製作に関するアンケートはこの位です。これが決まらないと、改訂が進まないのご協力をお願いします。

第三話（前書き）

どうも、エミリアです。

今回の改訂版では嫁搜索編を2話に分割することにしました。

そして、今回の第三話はサブタイを付けるなら水の国放浪記といった所です。

どうぞ、存分にお楽しみください！！

第三話

えー、火影の爺さんから許可を貰って旅に出たうちはサスケや。取り敢えず、先に旅の目的を話すとしよか。

俺の目的は各国に存在する忍術・体術・幻術をコピーすることと、白と多由也、アマルを嫁にすることや。

ってな訳で、嫁搜索の開始をここに宣言するわ。ぶっちゃけ、話の内容は割とダイジェストかも知れんけど、気にせんといてな。(笑)

あっ！言い忘れとったけど、現在の俺の服装は長い旅に耐えられる様に極秘裏にオーダーメイドで作ったもんやつたりする。

ぶっちゃけるなら、伝説○勇者○伝説に登場したライナルール・フラグメが忘却欠片(別名…勇者の遺物)搜索編で着てた服やね。

勿論、うちの家紋なんぞ入れとらん。ちなみに、この服をチョイスした理由は俺の『万華鏡写輪眼』の形状が理由やつたりする。

初めて『万華鏡写輪眼』を使用した時に判明したねんけど、俺の『万華鏡写輪眼』の形状は暴走状態の『複写眼』アルファ・ステイグマそのものやねんよな。

正直、鏡の前で『万華鏡写輪眼』を使用した時はビビった。でも、今ではαの真似とかできるかもって思っとる。

で、髪型は家庭教師○ットマンREBORN!に登場する未来編の六道骸と同じロン毛verのナッポーヘアーや。ナッポーヘアーは意外と簡単やねんで。

……さて。んじゃ、白らとの出会いを求めた4年間は旅日記風で提供することにしようか。ま、旅日記風なんで会話文らしい会話文は無いけど、その辺りは勘弁してな。

……旅日記1ページ目。里を後にした俺は少し離れた所で『多重影分身の術』を使い、各里へと分散させた。理由は忍術をより回収しやすくする為と、移動を簡単にする為や。

何で『影分身』を分散させることが移動を簡単にするかと言うと、俺が四代目火影・波風ミナトの十八番である時空間忍術『飛雷神の術』を使えるからや。

一応、神のお陰で知識上では『飛雷神の術』の理論とかは分かったからな。チャクラ制御を完全にマスターしてからの4年間で頑張っただけで会得したって訳や。

つまり、『影分身』に『飛雷神の術』の術式を各里に施させることで移動が簡単にできる様になるってことやな。

勿論、『影分身』の仕事はそれだけやないで!完全にやられるまで『写輪眼』による術の回収をする様に言ってる。あと、余裕があれば白らの散策も頼んだ。

で、俺は知識としてある医療忍術の修行をしながら『万華鏡写輪眼』の瞳術の1つ、『羅刹』を使って水の国・霧隠れの里に向かうこと

にした。

一応言っとくけど、『万華鏡写輪眼』瞳術の詳しい説明は、設定項目の『万華鏡写輪眼』瞳術一覧を参照してくれ。本文での詳しい説明はめんどいから。

で、最初に水の国・霧隠れの里に向かったのは、白を一番早く見つけられると思ったからや。

理由はアマルは火の国にいることは判明してるけど、国土が広過ぎて探すのが困難。多由也は田の国にいる可能性が高いけど、他国にいる可能性も大。

それに対して、白は水の国・霧隠れの里周辺の集落にいることは確実。そして、水の国は火の国より国土が狭い。アマルや多由也より探し易いと踏んだんや。

ま、他には霧の忍刀の搜索や、三尾の捕獲・封印とかも考えてたりするけどな。それでも一番の目的は白や。

ちなみに、各国・里に分散させた『影分身』の数は50体。これが現時点の俺が戦闘に支障が出んレベルで出せる『影分身』の最大量や。

もっとうい方が忍術をより回収し易くなるんやろうけど、それで俺が死に掛けたりしたら本末転倒やからな。

……旅日記2ページ目、里を出て2日目。『羅刹』のお陰で水の国に到着！ 割と飽き性な所がある俺は医療忍術の修行を『影分身』に丸投げした。

あつ！けど、俺自身何もしてない訳やないで！！忍空や烈火の炎に登場する技を忍術で再現できんかと思って、オリジナル忍術として開発を開始した。

取り敢えず、いくらチート能力持ちでも新術開発は簡単にはできないことが判明。ま、そうでもない面白みに欠けるわな。

……旅日記3ページ目、里から出て2週間。飽き性な俺には珍しく新術開発は続行中。取り敢えず、忍空技は既存の忍術をベースにすることで割と速く完成した。

が、烈火の炎に登場する八俣の火竜の炎は中々難しい。現時点で再現できてるんは『竜之炎壺式 崩』と『竜之炎式 碎羽』だけで、俺は現在どこにいるかという、バカでかい湖にいる。デカさ的には琵琶湖の半分位か？兎に角、デカイ。そして、何か見覚えがある。

そんなことを思っていると、湖から超巨大な亀もどきが現れた。しかも、尾が3本もある。……こいつ、三尾か！？

いきなり三尾とエンカウントしたことで俺は軽く混乱したけど、すぐに冷静になった。そして――

「こいつがこんな所に居るってことは、四代目水影・やぐらはもう死んでるってことやな。取り敢えず、飛んで火に入る夏の虫ってやつや」

思ってることを口にし終わると、俺は新術の実証実験も兼ねて三尾と戦うことになった。

……旅日記4ページ目、里を出て17日目。三日三晩の死闘の末、俺は三尾に勝利した。決め手は忍空技とかと一緒に開発してた新術、『螺旋丸』と『千鳥』を融合させた『雷遁・螺旋千鳥手裏剣』や。

形状は『風遁・螺旋手裏剣』の様な弧を描いた風魔手裏剣型やなくて、一般的な十字手裏剣型や。

で、術効果は『風遁・螺旋手裏剣』が？チャクラ？の通り道である経絡破壊なら、『雷遁・螺旋千鳥手裏剣』は？チャクラ？の発生源を破壊する。

尤も、『尾獣』相手には本来の効果は意味がなくて、大ダメージを与える程度やったけどな。

取り敢えず、『雷遁・螺旋千鳥手裏剣』のダメージで三尾が気絶してる内に俺の中に『四象封印』の重ね掛けで封印したった。

これで俺も晴れて人柱力の仲間入りや。ヒャッハー！こうして、俺は三尾との死闘を経てレベルアップした。（笑）

あっ！これ三尾を封印したのとは関係ないと思うけど、医療忍術の修行してた『影分身』が術を解いて、技術経験が還元されたおかげで医療忍術もマスターした。

本日は二重の意味でレベルアップや。……いや、これはレベルやなくランクアップと言っても過言では無いやろうな。

……旅日記5ページ目、里を出て1ヵ月。未だ、新術開発をしながら白を求めて水の国内を放浪中。

そして、新術開発も兼ねた俺の精神世界で三尾が自分の体の中で大量発生させとるミニ三尾を使った実験を開始。

うーん…、こう考えると術の開発者としては割と大蛇丸やカブト寄りかも。……うん。すっごい嫌やな！

取り敢えず、16体のミニ三尾を用意し、その身に術式を刻んで形状そのものを変質。更には俺が個別の自我を形成した。

結果、八俣の火竜と『水遁』verの八俣の水竜が完成した。しかも、完成度はかなり高い。自画自賛になるけど、素晴らしいの一言や。

新術開発も順調に進む中、俺は新しい出会いを果たした。何かに引き寄せられる様に向かったその場所で、俺は六尾の人柱力・ウタカタとその師匠・ハルサメと会ったんや。

……旅日記6ページ目、里を出て40日目。ハルサメ&ウタカタ師弟と出会って10日間、一緒に行動してたが別れることになった。

最初は警戒されてたけど、同じ人柱力ってことでウタカタとは親友になった。で、ウタカタとハルサメに尾獣の制御法を教えた。

雲隠れに向かわせてた『影分身』から還元された情報では第三次忍界大戦期には既に八尾の人柱力・ビーは八尾と和解して、八尾を制御できてたらしいからな。

で、その情報を教えたった訳や。俺もその方法で三尾を制御下に置くことができたって言ったら信じて貰えた。

ま、俺の場合実際は三尾に『万華鏡写輪眼』の瞳術『別天神』コトアマツカミで俺と友好的な関係やと思いこませて制御下に置いてるねんけどな。

それで俺が『写輪眼』の瞳術で雲隠れの真実の滝での現象を再現するという形で協力し、ウタカタは憎しみを克服。

そして、六尾との？チャクラ？の奪い合いにも勝利し、ウタカタは身体が水色の？チャクラ？で発光する六尾のチャクラモードを修得した。

ま、ビーの様に六尾を完全に制御化に置いた訳やないから、要修行が必要やけどな。そのことはウタカタ自身もよく理解してるから問題は無いやろう。

ついでに、ウタカタは俺が使用する『水遁秘術』である八咫の水竜を修得した。元々、ウタカタは『水遁』を得意とする忍やから相性が良かったみたいや。

僅か10日やけど、俺とウタカタの間には確かな絆ができたと思う。それを証明するように別れの前に、俺とウタカタはぬら孫でいう義兄弟の盃を交わしたんやから。

ま、互いに6歳見ってこともあって、ハルサメに酒は禁止されて水でやることになったねんけどな。(笑)

ハルサメ&ウタカタ師弟と別れた俺は再び1人旅を開始した。そし

て、獣道を気のままに歩いていると、霧隠れの暗部っぽい奴らに追われてる母子を発見した。

普通ならスルーする所やけど、娘の顔を見た俺は母子を助けることにした。……ん？何でかって？そんなん、子供が白やったからに決まってるやん。

……旅日記7ページ目、里を出て2ヵ月後。雪親子と接触して20日目や。霧隠れの暗部を全滅させた後、色々とあって俺は雪親子と行動を共にすることになった。

説明をしたいところだが、面倒なので割愛。ま、ご都合主義とでも思っと思ってくれ。ってか、もうそれでいいと思う。

ちなみに白は超可愛い。もう、俺は白にメロメロや。ま、それでも多由也やアマルの搜索は続けるねんけどな。(笑)

白の母親である氷華さんも超美人や。強いていうなら、ぬら孫の雪女・雪麗と白を足して割った感じ？目元が白っぽい感じや。

ここで何で氷華さんが生きてるんかって疑問が生じると思うけど、その辺りは抜かりなく聞いた。どうやら、夫に殺される前に白と一緒に逃げたらしい。以上！

取り敢えず、白との遭遇ミッションはクリアした。しかも、雪親子を追ってた霧隠れの暗部の隊長が長刀『縫い針』の所持者やって、俺にとっては棚から牡丹餅やった。

その隊長を仕留めたんは、『万華鏡写輪眼』の瞳術『天照』と『炎遁・加具土命』を応用した体術『邪王炎殺煉獄焦』や。(笑)

拳に『加具土命』で『天照』を纏わせて、『朝孔雀』みたいに連続で殴りまくった。 (笑)

雪親子を執拗に追いまわってたのを見てイライラして殺った。今も反省はしてない!!

……旅日記8ページ目、里を出て70日目。まだ、水の国に居ます。ってか、正確には出国する手前?

雪親子との接触も果たしたし、ウタカタとも義兄弟の盃を交わした。長刀『縫い針』も手に入れたしな……。

ま、他の霧の忍刀を手に入れたって気持ちが無いかと問われると、あると即答する。けど、これ以上水の国に留まるんは雪親子にとっては危険過ぎるからな。

霧の忍刀を蒐集するんはまたの機会にすることにしたんや。俺も、完全無欠って訳やないからな。忍刀に執着して、白らを失ったら意味が無いし。

……旅日記9ページ目、里を出て71日目。上記の翌日や。『影分身』に雪親子の護衛を任せて食料調達に行ったら、再不斬を発見した。

断刀『首斬り包丁』をゲットする為に死角から奇襲するも失敗。再不斬も売られた喧嘩は高価買取する主義の様で、ガチバトルが勃発した。

結果だけを述べるなら、俺の勝利! 決め手は『表蓮華』や。再不斬

をリアル犬神家にした後、『首斬り包丁』を強奪して逃走した。（笑）

……旅日記10ページ目、里を出て80日目。雪親子と一緒に無事、水の国を脱出。現在、火の国でアマルの村を探索しながら修行の旅を続行中。

尤も、修行の旅と言っても雪親子が加わったことで観光要素が強くなったけどな。雪親子が加わるまでは野宿が基本やったけど、今では宿場町を利用するようになった。

風呂上りの浴衣姿の白なんか激萌えやで。氷華さんも色っぽ過ぎや。一児の母とは思えん。行く先々でナンパされるし。

ま、そんな感じで普通の旅要素を楽しみながらアマル探しを続けていると、1体の『影分身』が解かれて記憶が還元された。

第三話（後書き）

という訳で、第三話でした。

今回は多由也&アマル搜索&妖刀佐助・傀儡佐助誕生編です。

次回更新は早ければ10日の晩にでも更新できると思いますが、遅ければ週末か来週になると思います。

なんとも不定期的な更新ですが、ご了承ください。

という訳で、次回も気合を入れるぞ。ちえりおー！ちえりおー！！ちえりおー！！

第四話（前書き）

どうも、エミリアです。

やってやった！やってやったぞ！！（笑）

これで中忍試験編の話（特に第三試験予選の内容）が大改編決定や
！！

でも、私に後悔の念はありません。むしろ漲って来た！！（↑何が？）

という訳で、第四話をどうぞお楽しみ下さい。

第四話

うっす！嫁を探して三千里の旅を継続中のうちはサスケや。ま、実際に三千里あるかと言われれば無いやろう。けど、その辺りは突っ込んだら野暮ってことで……。

そうそう。前回、言い忘れてたけど蒐集した断刀『首斬り包丁』と長刀『縫い針』ついて少し話しようか。

『縫い針』は兎も角、『首斬り包丁』は蒐集当初は7歳児やった俺には持ち歩くことが不可能なんで、収納用匣^{ボックス}に入れて持ち歩いとる。

そのことに関しては了承しといてな。……という訳で、前置きもこの位で終了して、旅日記を始めようか。それでは旅日記、スタート！

……旅日記11ページ目、里を出て81日目。『影分身』から還元された記憶でアマルの村が発見されたことが判明した。

しかも、まだ神農は来てないようや。『飛雷神の術』の術式もちゃんと付けて来てくれたようで、俺は雪親子と一緒に即座にアマルの村へ向かった。

アマルの村にやって来て最初に目に入ってきたんは疫病で苦しむ村人の姿や。『影分身』から還元された記憶で分かったけど、酷いな。

アマルと同じ病気にかかった人らは身体のどこかしらに通常ではありえん腫れものが例外なくできとった。

アマルが目的の俺にとって、その他大勢の村人を助ける義理はぶっちゃけないねんけど、苦しんでる人を見捨てて白に嫌われるんも嫌なんで、村人全員を助けることにした。

で、この時に『白眼』能力と『天目一箇』を併用してレントゲン代わりにし、旅に出てから修得した医療忍術で治療することになった訳やねんけど、同時に驚くべきことが判明した。

アマルの村に蔓延してた疫病の正体は宿主から？チャクラ？を強制的に吸収し、それを元に繁殖するナノサイズの毒蟲やったんや。

？チャクラ？ってのは、精神エネルギーと身体エネルギーの融合させたもんやからな。一般人でも訓練次第では扱うことができる。

歌舞伎の家の子供やった自来也が三忍と呼ばれるレベルになれてるのがいい例やろう。

で、このナノサイズの毒蟲やねんけど、？チャクラ？の扱いに慣れた忍にとっては何の脅威にもならんみたいやねんけど、そうでない一般人にとっては脅威そのものみたいや。

何故、忍にとっては脅威ではないかと言うと、この毒蟲の？チャクラ？を吸収する総量はそう高くないんや。

つまり、吸収限界量を超える？チャクラ？を強制的に与えれば毒蟲は自滅するって訳や。忍にとってはその位のことは朝飯前や。

でも、一般人には？チャクラ？を練る技術が無いんで、毒蟲が自由気ままに宿主に強制的に練らせた？チャクラ？を吸収し、繁殖。結果、宿主を死に至らしめるって訳や。

感染したら一般人の場合は1ヵ月ほどで死んでまうな。対処法は医療忍者が外部から？チャクラ？を流し込んで、毒蟲を駆除した後に医療忍術で毒抜きする位か。

あとは蟲使いの油女一族の能力で毒蟲を支配下に置いて、毒蟲を出した後に毒抜きをする方法があるな。

ま、この毒蟲は忍相手には効果が無いんで、一般人——大名とかの暗殺ぐらいにしか使い道が無いと思うけど……。

取り敢えず、俺は手当たり次第に治療を開始した。1人に掛かる治療時間は浸食度にも因るけど、大体10分前後やった。

そうそう。この村での俺と雪親子の立場は修行の旅をしとる医療忍者者ってことになってる。

……旅日記12ページ目、里を出て82日目。アマルの村に来て2日目。村人ほぼ全員の治療を完了した。

で、最後の患者としてアマルがやってきた。いや、正確にはアマルの所に行ったというべきか？毒蟲の浸食度が一番酷かったこともあって治療に1時間近く掛かった。

毒蟲の繁殖量が多過ぎたんや。ぶっちゃけ、俺は村人を心の中で軽蔑したわ。普通、病気の進行度がヤバイ奴から教えるってのが人情

やろ。

いや、人情ってか人の常識？あと、1日治療が遅れてたらアマルは死んでたで。こんな人でなし集団みたいな村には長く滞在したくないな。

……旅日記13ページ目、里を出て87日目。アマルの村に来て1週間。結果のみを報告するなら、アマルは俺に惚れた。

いや、まさかここまで上手くいくとは思わなかった。人生は甘くないと思っとったけど、結構甘いもんやったみたいや。

で、話が変わるけどアマルにも忍者としての才能があったので、医療忍者として育てることになった。

最初は微妙に栄養失調っぽかったアマルも俺や雪親子の看護で元気になったこともあり、旅を再開することになった。

『影分身』からの情報が来るまで村に滞在するって選択肢もあったけど、人でなし村に長居する気も無かったんで、アマルが元気になったことを期に旅を再開することにしたんや。

……旅日記14ページ目、里を出て4ヵ月。里を出た当初に作った『影分身』がかなり減ったので50体補充した。

今回、新しく補充した50体の内20体の『影分身』には田の国を中心とした周辺諸国での多由也の搜索を、残りの『影分身』には他里の術のコピーを命じた。

で、本体の俺は何をしてるかというと、湯隠れの里で雪親子&アマ

ルの4人と観光を楽しんどった。

正確には観光を楽しみつつ、アマルの修行をしてる。イメージ的には原作ナルトの『螺旋丸』修行みたいな感じや。

それにしても、アマルは凄い。僅か1ヵ月で『掌仙術』をマスターしたんやから。他には雪親子から人体のツボについても教わってる。

何かの話で聞いたことがあんなんだけど、一流の医者は一流の殺し屋にもなれるらしい。理由は人体を知り尽くしてるから。

どこをどうすれば人体に多大な負荷をかけて壊せるかが分かるらしい。そう考えると、アマルだけでなく医療忍者全員、超怖いな…。

…旅日記15ページ目、里を出て5ヵ月。アマルの修行が順調に進む中、俺は湯隠れの里で信じられん出会いを果たした。

この日、アマルへの指導は雪親子がすることになっていて、俺は湯隠れの里にある土産物屋を梯子しとった。

氷華さんの爺さん、つまりは白の曾爺さんひいじいに当たる人やな。その人は水の国の暗部やったらしい。

で、雪さんはその爺さんから千本の扱いや人体急所、ツボについて習ってたらしく、アマルはそのノウハウを雪親子から教授されることになった。

俺はどっちかっていうと、そういった肉体的ツボやなくて『千鳥千本』で点穴とかを狙うタイプなんで、講義から外されたって訳や。

時間潰しの為に土産物屋で湯隠れ饅頭や『湯隠れ丸』なる木刀を物色してると、店と店の間の細い路地から物音が聞こえた。

まあ、俺の場合は危険らしい危険ってのも無いやろう思い、好奇心から物音が聞こえた路地裏を探索することにした。

で、路地裏を進んで行った先には赤髪の少女が倒れ込んだ。その少女は俺の知っとる人物や。

顔こそは幼かったけど、見間違えることなど無かった。倒れとったんは原作で音忍四人衆の1人で、俺が今回の旅で探してた最後の1人・多由也やった。

全身に擦過傷があって、衰弱してるんが一目で分かったんで、俺は多由也を姫抱っこして雪親子やアマルと一緒に泊ってる宿に急いで向かうことにした。

宿に着いたら、雪親子やアマルの事情を説明して多由也の治療を開始。治療はその日の内に終了したけど、その日の内に多由也が目を覚ますことは無かった。

……旅日記16ページ目、里を出て156日目。多由也を拾ってから4日が経ち、衰弱してた多由也が漸く目覚めた。

目覚めた直後はかなり混乱してたけど、時間が経つにつれて多由也は落ちていて、傷だらけだった理由を話してくれた。

多由也の話ではどうやら両親は血の繋がった兄妹らしい。ま、一般的に近親相姦と言われるもんやな。

で、多由也の一族では近親相姦で生まれた子供は忌み子として扱われるらしい。倫理的に見ても近親相姦は拙い^{まず}しな。

にしても、こう言ったら差別なんかも知れんけど、一般的に近親相姦で生まれた子は遺伝の関係で何かしらの障害を持って生まれる可能性が高いのに、多由也はそんな感じやないな。

ま、俺はそんなんで差別したりせんけどな。人間、中身が一番大切やろ。で、色々話を端折^{はしよ}るけど、多由也は俺らと一緒に行動するようになった。

ちなみに多由也の名字は音^{おとかせ}？っていうらしい。音^{おとかせ}？多由也……、違和感はない名前やな。

……そうそう。俺らが湯隠れの里にある宿屋に長期滞在できる金を何で持ってたんねん、って疑問に思ってる人もいるやろうから、答えとこうか。

湯隠れの里に来るまでの道中、賞金首の忍を狩ってたりしたんや。で、近場の換金場で金に換えてたって訳や。どこぞの不死身ひじきみたいって突っ込みは勘弁してくれ。

……旅日記17ページ目、里を出て6ヵ月。多由也が元気になったこともあり、俺は湯隠れの里を出て旅を再開することにした。

で、俺と雪親子、アマルの計5人は雷の国にやって来た。ここで教えて雷の国を選んだのは、軍事力と経済力が五大国で一番やからや。軍事力が高いってことは、忍の質が高いってこと以外に忍具の質や生産性が高いって思ったからや。

つまり、チャクラ刀なんかの？チャクラ？を宿すことのできる特殊な武器が大量にあるかもしれないって踏んだんや。

ついでに、そういった武器を作る忍具職人に直に会う機会があるなら弟子入りしようかと思っとる。

正確には忍具職人やなくて、チャクラ刀を作る刀匠やな。俺、これでも前世からの刀マニアやから。本物を手にしたことは無いけど、模造刀は大量に持ってたし……。

そうそう。多由也と接触できたことで木ノ葉出発時と湯隠れの里滞在時に作った『影分身』を一旦解いたことを伝えとこうか。

理由は湯隠れの里で新しく動員した『影分身』の内20体は多由也搜索に充ててるからや。多由也と接触できた以上、無駄以外のなにもんでもないからな。

解除した時、『影分身』が今までコピーしてきた術が一気に還元されたことで、激しい頭痛に襲われたけど問題ないやろう。

普通なら廃人になりそうな情報量な気もするけど……。もしかしたら、廃人にならんかったんは神がくれた六道仙人の因子のお陰かな。

そう考えれば、試しに『影分身』で『万華鏡写輪眼』の瞳術を使わせた時があったねんけど、『影分身』が普通に瞳術を使ったことにも納得がいく……？

うん。納得がいくことにしよう。ご都合主義やろうと何やろうと、

別にええ。六道仙人なら何でも可能やろう。

取り敢えず、今度は新しく『影分身』を100体作って、再び各里の術をコピーさせる為に分散させた。

……旅日記18ページ目、里を出て7ヵ月。雷の国に来て1ヵ月。俺は雲隠れの里から少し離れた山奥に居た忍具職人に弟子入りした。この1ヵ月、俺が師事したいと思える様な忍具職人が中々見付からなかったけど、1ヵ月かけて遂に見付けたんや。

師匠は○語に出てくる四季崎記紀みたいな世捨て人っぽさのある人で、山奥で弟子も取らずにたった1人で気の向くままに忍具を作ってた。

正に孤高の忍具職人や。俺が弟子入りできたんは師匠の気まぐれってのがあるやろうな。正に運が良かったとしか言いようがない。

……旅日記19ページ目、里を出て1年。雷の国で忍具職人に弟子入りして3ヵ月。他国で8歳の誕生日を迎えた俺は絶賛修行中やったりする。

そんな中、風の噂で俺の耳にある情報が入ってきた。木ノ葉の里でうちは一族の大量殺人事件が起こったらしい。

主に殺害されたのは、木の葉警務部隊に所属していた人間とその関係者の一部らしく、容疑者は行方を晦ましたイタチ兄とされた。

俺との約束通り、虐殺はせんかったようやけど、火の国———というか木ノ葉では完全に抜け忍と認定された。その上、各里でも指名

手配までされとるみたいや。

あと、『影分身』の1体が気を利かせて何かあった時の為に『写輪眼』開眼者の眼を抉り取って回収したらしく、ただの大量殺人事件ではなく、大量猟奇殺人事件になってもうた。

『影分身』とはいえ、俺のせいでイタチ兄が大量猟奇殺人者となっ
てしもうた。……超申し訳ない。イタチ兄が帰って来た暁には謝罪
しよう。

ちなみに回収した『写輪眼』は保存液の入ったケースに保存されて、
『影分身』が作った秘密アジト的な所に保管されとるらしい。

取り敢えず、忍具職人としての修行が終わったら『写輪眼』を回収
しに行こうと思う。幸いにも、秘密アジトにも『飛雷神の術』の術
式を設置したみたいやからな。

……旅日記20ページ目、里を出て2年。雷の国で忍具職人の師匠
に弟子入りしてから1年3ヵ月。9歳の誕生日を迎えた俺は師匠か
ら免許皆伝を貰った。

まあ、俺が基本的に作るんは日本刀の様なチャクラ刀で、鎖鎌とか
苦無、手裏剣、千本は殆ど作らんねんけどな。

しかも、名称や形状は●NEPIECEやSAMURAI DEE
PER KY●とか、他の漫画に出てくる刀剣しか基本的に作らん。

ちなみに、免許皆伝を貰えたのは忍具職人としての名前がそこそこ
に売れ始めたからやったりする。

この時、俺は自分の作るチャクラ刀シリーズに妖刀佐助なんていうブランド名が付けられるとは思ってもみなかった。

だって、ブランド名に自分の名前が使われるとか思わんやん？しかも、五大国に知れ渡るとか……。どんな羞恥プレイやねん。

それは兎も角、俺のチャクラ刀がそこそこに売れ始めたことに伴い、師匠の数少ない知人で五大国の大名公認の武器等級決定者に俺の作ったチャクラ刀の等級を決定して貰うというイベントが発生した。

ぶっちゃけ、師匠によって発生した強制イベントやねんけどな。だって、師匠が勝手にその人を呼んで、その人が勝手に俺の作ったチャクラ刀の等級を決めたねんから。

師匠は“免許皆伝祝いだ。喜べ”とか言ってたけど、どうせならもっと別の免許皆伝祝いが欲しかった。

ま、この時に五大国大名公認の武器等級決定者の連絡先を教えて貰えたことが、後々で助かることになるねんけどな。

主に新しくチャクラ刀を作った際、そのチャクラ刀の等級を決めて貰うとかで……。それ以外で接触することはまずない。

で、この武器等級決定者に等級を決めて貰ったチャクラ刀が妖刀佐助シリーズで、それ以前に俺が作ったチャクラ刀は妖刀佐助に入らん番外シリーズって所やったりする。

そうそう。そういえば、白らの誕生日に俺の作ったチャクラ刀をプレゼントしとったりする。全部、俺の処女作品や。

どんなんを渡したかというと、白に『北斗七星』、アマルに『北落師門』、多由也には『護りの小太刀』やな。3つとも等級は最上大業物や。

勿論、氷華さんにもチャクラ刀を渡してるで。銘は『水魔乃太刀』。形状と能力は青山剛昌のY A O B Aに登場した『水魔の太刀』そのものな。等級は大業物に当たる。

そして、俺も4本のチャクラ刀を所持しとる。最上大業物の『逆刃刀・真打』と拵が業物の『三代鬼徹』と色違いになつとる『初代鬼徹』。大業物の『秋水』。そして、良業物の『雪走』や。

いつか、家庭教師○ットマンREBORN!の幻騎士が使つとった四刀流や山本の変則四刀流を使いたいと思って、4本所持してみた。

……旅日記21ページ目、里を出て368日目。雷の国で忍具職人の師匠から免許皆伝を貰って3日目。

俺は師匠から免許皆伝を貰った翌日に『飛雷神の術』を使って、1人で木ノ葉の里に一旦戻った。

木ノ葉の里に戻った理由は『写輪眼』の回収する為。『写輪眼』は回収後にすぐ保存用の匣兵器ボックスに収めた。

で、木ノ葉で他に用事は特に無かったんで、そのまま『飛雷神の術』で再び雷の国へと戻った俺は白らと一緒に旅支度を始めた。

そう。忍具職人としての免許皆伝を貰ったんで再び放浪の旅に出るんや。今度は土の国にでも行こうかと思つとる。

で、師匠に今までお世話になったお礼を述べ、そのまま去ろうとした直前。師匠から爆弾発言を投下された。

「そうそう。雲隠れの四代目雷影からお前のチャクラ刀を何本か献上する様に言われてたんだ。出て行く前にアイツに等級判定されたチャクラ刀を何本か置いて行け」

……そういう大事なこと、旅出つ直前に言うか？普通……。そんなことを思いながら、後に妖刀佐助の良業物に数えられる7本の刀を師匠に渡し、俺らは雷の国を去った。

ちなみに、この時点では師匠に渡したチャクラ刀以外の等級付き――後の妖刀佐助は全て収納用匣ボックスに収めて、俺が持っていることをここで伝えておこう。

そして、この時に献上したチャクラ刀で雲隠れの里には霧隠れの里の忍刀七人衆に対抗する部隊ができた。

それが雷影の側近を務めることになる雲の忍刀七人衆なんやけど、それに関しての詳しい話はまた別の機会にすることにしよう。

……旅日記22ページ目、里を出て3年。10歳の誕生日は風の国・砂隠れで迎えた。土の国にも行ったけど、大したもんが無かったんで、1ヵ月程で風の国に来た。

ま、風の国に来るまでの間、何も無かった訳やないけどな。新術の開発過程で『血継限界』・『磁遁』を一代で生み出したりしたし……。

ちなみに『磁遁』って、三代目風影が砂鉄を扱うのに使ってた『血継限界』のことな。俺の場合は砂鉄以外に汞——水銀を操作するのに使ってる。

で、他には路銀が足りなくなったりして、等級付きで俺が作ったチャクラ刀を売ったりしたことがあった。けど、大したことでもないんで長くは語らんことにしよう。

それに等級付きって言っても、売っ払ったんは業物と良業物で、大業物と最上大業物は所持したままやったりする。

売りに出す際、武器等級決定者直筆の等級証明書を付けると超高額で買い取って貰えた。武器等級決定者様々やと思った。

で、そんなことをしてたせいか風の国・砂隠れに来た時に、俺が作った等級付きのチャクラ刀は妖刀佐助のブランド名で広まってることが判明した。

砂隠れの里に入る際、門の関所で通行手形と身分証明書を出したら忍具職人が問われ、“YES”と答えたらと握手を求められた。

どうやら、俺のチャクラ刀は妖刀佐助シリーズで定着し、五大国で広まってしまってる様や。正直、俺は絶望した。

まさか、路銀に困って業物と良業物を売ってたら、そんなブランド名が定着することになるとは……。自業自得とはいえ、最初に言い出した奴が恨めしい。

で、砂隠れの関所の役人の案内で四代目風影と接触。滞在期間中に

良かったらチャクラ刀を作って貰えんかと言われた。

こっちとしては『傀儡の術』を既にコピー済みってこともあって、傀儡の作り方を教えて貰いたかったこともあり、それを条件にチャクラ刀を作ることとなった。

ま、ギブ&テイクやな。ちなみに作る予定のチャクラ刀は業物か良業物だけのつもりや。ま、等級に関しては武器等級決定者の所に行かなアカンねんけどな。

それにしても、傀儡の製造は奥が深い。1年ちよつとで忍具製造工程を覚えた俺でも中々良い物が作れん。

火影の爺さんに許された旅の期間は残り1年。それまでに製作工程を完全にマスターしたいと思う。

……そうそう。傀儡製作の片手間で我愛羅と接触し、その後に四代目風影と密かに再接触。俺が人柱力であることと、『尾獣』を完全に制御化に置いてることを教えたった。

このことを教えた時、その場には四代目風影以外に相談役のチヨ婆様やエビゾウ爺様が居ったけど、別にこの2人なら問題も無いやろうと俺は判断した。

で、『尾獣』の制御には憎しみの克服が必須なことと、周囲から与えられる愛情が『尾獣』を屈服させる最も重要な役割を果たすことを伝えた。

すると、四代目風影は目を見開き、脱力した様に身体を椅子に預けた後、机に肘をつけて頭を抱えた。

「……オレがやって来たことは、何もかも裏目だったということか……。アイツから人の繋がりを奪い、母の愛情を奪い、憎悪の感情を植え付けた。

アイツが一尾・守鶴を操れないのも当然だ。オレが邪魔をしてきた様なものだからな。加瑠羅と夜叉丸が正しかった。

どうやら、オレにはものの——人の価値を見極める才能は無かったようだ……」

絶望したかの様に淡々とそう語る四代目風影。そんな風影にチヨ婆様とエビゾウ爺様は声をかけることができん様やった。そんな中、俺は口を開いた。

「今からでも間に合うんとちゃいますか？今からでも我愛羅と向き合えば——今まで与えられなかった愛情を注いでやれば、尾獣を制御できるようになりますよ。

何たって、あいつは影の名を背負うことができる逸材……、やと俺は見てますから」

「……どうやら君はモノの価値を見極める才能に恵まれてるようだな」

俺の言葉に四代目風影は微笑を浮かべながらそう答えた。そして、その日から俺と四代目風影、カンクロウ、テマリによる我愛羅奮闘記が始まった。

と言っても、同じ人柱力である俺が我愛羅とガチバトル。我愛羅を

砂を使えん位までボコボコにして、動けん様になった我愛羅を四代目風影、カンクロウ、テマリが愛情を持って看護するってのを繰り返した位やけどな。

ちなみに我愛羅が砂を扱えんことを機に我愛羅を暗殺しようとした奴らが居ったけど、そいつらは俺や雪親子、アマル、多由也によって半殺しという教育指導を受けることになった。

……旅日記23ページ目、里を出て3年11ヵ月。1ヵ月程前に俺はついに傀儡作りの免許皆伝を貰った。

で、免許皆伝に伴い再び武器等級決定者が登場。俺が作った傀儡にもチャクラ刀と同じ等級が付けられる様になった。

結果、俺製の傀儡にもチャクラ刀と同じ様にブランド名ができた。ブランド名は傀儡佐助。

……この世界の忍達は余程俺を辱めたいらしい。まだ、妖刀団扇シリーズや傀儡団扇シリーズの方が個人を特定しにくいので良かったと思う。

……世界中のサスケさん。サスケの名を世界の恥じ？では無いかもしれないが、意味もなく有名なものにしてしまつてごめんなさい。でも、言い訳がましいかもしれないけど、悪いのは8割がた俺の作ったチャクラ刀や傀儡を所持した人達やから、俺を恨むのは勘弁して下さい。

話が少し変わるけど、砂隠れに来てからも新術を開発してたりする。名称は『人遁』。ぶっちゃければ、ネギまの『術式兵装』と『敵弾

吸収』を使える術だ。

あと、『天遁』という『風遁』と『雷遁』を合わせた術式も開発した。ぶっちゃければ、『磁遁』に次ぐ3番目の『血継限界』や。

ちなみに、この『天遁』を使えば、『雷の暴風』を再現することも可能や。他には軽い天候操作か？『雷遁・麒麟』を使い易くなったりする。

あと、話しとくべきことは風影一家と仲良くなったこと位か？ま、テマリには会った瞬間に“好みじゃない”とか言われたけど……。

特に我愛羅とはウタカタの時と同じ様に義兄弟の水盃を交わした。これが木ノ葉崩しの時に我愛羅を苦しめるとは、この時の俺は思ってもみなかったんや。

さて、そろそろ本題に戻ろうか。あと1ヵ月で火影の爺さんとの約束の期限が終了することあつて、木ノ葉に戻らんと拙いので、俺らは砂隠れの里を離れることになった。

風影一家やチャクラ刀を買いに来てた常連さんの忍とかは別れを惜しんでくれて、送別会の様なことをしてくれた。

送別会が行われたんは砂隠れにある一番高級なメシ屋で、朝まで飲み食いした。この時、四代目風影は酔った勢いで氷華さんに迫ってたけど、我愛羅の砂に張っ倒されてた。

我愛羅曰く、この時の砂の攻撃は我愛羅の意思では行われてないらしい。一体どういう原理で動いたんやろ？

……旅日記24ページ目、里を出て1430日目。上記の翌日。そして、俺ら砂隠れを発つ日。

風影一家が見送りに来てくれたので、感謝と餞別を兼ねて傀儡佐助の良業物を7体渡した。ちなみに大業物以上のは妖刀佐助と同様に収納用匣に入れとる。

カンクロウには“餞別なら大業物や最上大業物をくれてもいいじゃん？”とか言われた。がそれに対して俺は――

「俺に一撃を喰らわせられるか、我愛羅を戦闘不能にできるようになったらタダでやるわ」

と答えたった。それに対してカンクロウは“うげー”と肩を落としながら言ってきた。で、我愛羅はそんな俺とカンクロウの遣り取りに苦笑していた。

そして、俺は我愛羅らとまた再会しようしようと約束を交わし、砂隠れの里を去った。

ちなみに、この時の俺の行動によって砂隠れの里では霧隠れと雲隠れに対抗する様に、砂の忍傀儡七人衆と呼ばれる存在が誕生したのは余談やろう。

……旅日記最終ページ、里を出て1459日目。俺は雪親子とアマル、多由也を連れて木ノ葉に戻ってきた。

木ノ葉に戻って来た俺は門の関所で通行手形と身分証明書を出すと、

砂隠れに行った時と同じ様に握手を求められた。

で、そのまま白らと一緒に火影の爺さんに会いに行くこととなった。
火影の爺さんと会った時間は30分程。

その間に行われた会話は帰郷の挨拶と白らの忍者学校アカデミーへの入学依頼
や氷華さんの処遇についてやな。

実際、白らの実力は既に上忍級なんで、俺と同じ学年に編入させて
もらえることになった。この時、爺さんに忍者学校に戻ることなく、
下忍になることも可能と言われたが、それは断った。

どうせなら、1年間のんびりとアカデミー生活を送りたいからや。
それに今年の内に下忍になった場合、ナルトラと同期になれへん。
やっぱ、下忍になるならナルトラと同期でなりたい。

復学や編入には手続きが必要な様で、俺らが忍者学校に通い始める
のは明後日からになるらしい。

ちなみに俺の前に住んでた家は、オトンとオカンが死んだことで名
義が俺に代わってる様で、実証見分などが行われたが健在らしい。

ただ、妹のミカゲは幼かったこともあり、日向宗家に預けられてい
た為、放置状態だったらしく、内部が荒れている可能性があるとの
ことや。

取り敢えず、忍者学校に行き始めるのが明後日からなので、その間
に家の掃除や家具の買い足しなんかをしようと思う。

あと、実家の名義を一時的に氷華さんに変更して貰った。理由は俺

が未成年やから。どうせなら大人に管理して貰った方がいいと考え、一緒に住む氷華さんの名義にして貰ったんや。

……木ノ葉に帰還してから3日後。家の方は大して荒れてなかったんで、簡単な掃除と生活用品の補充だけで終わり、まったりとすることができた。そして、今は忍者学校に来ていて、教室前の廊下にいる。

「準備ができたら呼ぶから、そしたら入って来てくれ」

ちなみに忍者学校で編入するクラスはイルカ先生のクラスや。さつき廊下で待ってる様に言ったんもイルカ先生や。

「じゃあ、入って来てくれ」

おっ。俺が考え事しとる内に俺らの説明を終えたみたいで声を掛けられた。俺は教室の扉に手を掛け、扉を開き、中に入った。俺の後ろには白らもついて来とる。

「あゝ…。4年程休学しとって、今日から復学することになった、うちはサスケや。卒業まで1年だけやけど、よろしゅう。

確か、下忍は3人1組だった筈なんで、同じ班員になった人はそんな時にまたよろしゅう」

黒板に名前を書いて無難な自己紹介をした後、教室の生徒を見た時に俺は驚いた。ナルトの姿があったんやけど、その姿が原作のナルトというより、どちらかと言うと四代目寄りの姿やったからや。

しかも、着てる服が疾風伝の服で、仙人モード修得後に着てた赤地に黒のダンダラ模様の入った羽織を着とる。

他には、ヒナタの髪が第2期と同じ位の長さになってる上、服も疾風伝のものになってた。後はヒナタの妹であるハナビがいたことや、俺の妹のミカゲと思われる少女がいたことに驚いた位や。

で、俺がそんなことを考えている内に白らの自己紹介が始まっとったらしい。で、途中でナルトを除くアカデミー生からどよめきが起こり、俺に視線が集中した。

ナルトは“やっぱりな”という様な呆れ顔で俺を見て、ヒナタとハナビからは微妙に汚物を見る様な目で見られてる。クラスのヤローどもからは憎悪の視線を送られている。

なして？そんなことを思いながら後ろの黒板を見てみると、黒板には“うちは白”、“うちは多由也”、“うちはアマル”と書かれてた。

何、これ？俺がそんなことを思っとなると、俺の疑問をイルカ先生が解決してくれた。

「サスケ……。この娘達、全員がお前の婚約者っていうのは本当か？」

「……………はい？」

えっ？婚約者？何の話ッスか？確かに3人とも最終的には俺の嫁にする予定ですけど、そんな話を今までしたことは無いッスよ。

ってか、3人とも俺の婚約者って自己紹介したの？それって両思いやんな？ここは俺も覚悟を決めなアカンな。

「まあ、事実ですね」

そんなこんなで俺ののんびりアカデミー生活は初日から破綻してもうた。まあ、別にええねんけどな。

あっ！近い内に家族としてミカゲに接触せなアカンな。今まで寂しい思いをさせたやろうからな。

第四話（後書き）

という訳で、第4話でした。

今回も前話同様、割と気合を入れて編集しました。（特に多由也との接触シーンとか？）

兎に角、風影一家と仲良くなったことで中忍試験の話を少し編集することになります。

が、その辺りはいつも通り、ちえりおーの掛け声と共に気合を入れて頑張りたいと思います。

感想を頂けるとエミリアの気合が更に入ります。（笑）

という訳で、次話も頑張って書きたいと思います。

といっても、次話は裏話のアキトについてなんで、余り編集点はないかもしれませんが……。

強いて編集点を上げるなら、シスイの所位ですかね？他にここはこう編集した方がいいんじゃない？というのがありましたら、感想に書いて頂けると助かります。

では、次話に向けて気合を入れます。ちえりおー！ちえりおー！！ちえりおー！！！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2541y/>

2人の転生者 - サスケ s i d e - 《改訂版》

2011年11月14日02時45分発行